

2026（令和8）年度
岐阜大学医学部附属
地域医療医学センター（CRM）
地域医療研修 ガイドブック

岐阜大学医学部附属地域医療医学センター
Center for Regional Medicine（CRM）



研修医諸君へ ～地域医療研修は成長のチャンス～

医師として初期臨床研修の2年間はとても大切な時期です。この時に学んだこと、その姿勢は皆さんの宝となります。2004年からの医師臨床研修制度で地域保健・医療は必須項目となり、2009年の見直しで地域医療実習は1か月以上（現在は4週以上）の必修となりました。岐阜大学医学部附属地域医療医学センター（Center for Regional Medicine：CRM）では2007（平成19）年度から、初期臨床研修2年次必修の「地域医療」研修をより有意義なものにするために、「CRM 地域医療研修」として派遣元病院と派遣先病院とのコーディネートを行ってきました。2010（平成22）年度からは岐阜県医師育成・確保コンソーシアム事業の一環として継続しています。

本研修は単なる地域医療を見て回るという4週間ではありません。へき地医療拠点病院とその周辺医療施設との連携で策定され、それぞれの地域（都市型を含む）の特色を生かした研修プログラムを、あらかじめこの冊子で確認したうえで選択し、実際の現場では外来診療を含め、地域基幹病院と周辺施設の病診連携や、在宅医療、介護保険をはじめとする福祉のシステム、地域自治体等の保健活動や地域包括ケアの重要性を認識し、その中での医師の役割について考え学ぶものです。

地域医療は急性期病院の医療と同様で、決して医師のみでできるものではなく、多くの医療スタッフの連携でチームとして行われる医療の原点でもあります。保健・医療・福祉に関わる他職種の役割を理解することは、多職種間連携教育（Interprofessional Education: IPE）として重要です。

また実習地域の多くは高齢化がすすみ、今後のさらなる高齢社会の問題点を知るという側面もあります。臨床力としての診療知識や技術の習得はもちろんのこと、疾患のみでなくその人に寄り添い、人生や家庭・生活環境をみる（診る、見る、観る、視る）力を養い、今後の医師人生において役立ててほしいと思います。

各研修施設の指導医、医療スタッフの皆様も研修医諸君の指導を熱心にしていただき、医師としての成長を期待しています。同時に患者さんやその家族、地域住民、行政の方々の多大な協力もあります。私たちは、引き続きこの地域医療研修のコーディネートを継続して参ります。

地域医療研修で、医師としてさらに成長してください。

2025年10月吉日

岐阜大学医学部附属地域医療学センター長（教授）

牛越 博昭

目次

はじめに	1
基本事項	
1. 実習時期・期間	1
2. 実習内容	1
3. へき地医療拠点病院－診療所ユニット例	1
4. 研修のオプション	1
5. 研修派遣元、派遣先リスト	2
6. CRM 地域医療研修手続き	3
7. 研修の記録	4
2025 (R7) 地域医療研修の実際	5
CRM 地域医療研修アンケート結果	7
2026 (R8) 年度地域医療研修施設紹介	
岐阜県立下呂温泉病院	10
下呂市立金山病院	13
市立恵那病院	15
市立美濃病院	19
郡上市民病院	25
国保上矢作病院	31
飛騨市民病院	34
鷺見病院	40
総合在宅医療クリニック	43
県北西部地域医療センター	49

はじめに

2004年4月から新医師臨床研修制度が発足し、地域保健・医療は必修科目とされました。さらに、2009年に臨床研修制度の見直しがされ、地域医療は1か月以上の必修科目として継続となりました。岐阜大学医学部附属地域医療医学センター（Center for Regional Medicine:CRM）は2007年に設立され、「医師不足と偏在打開を目指し、地域医療に関わる幅広い医療技術を身に付けた横断的総合臨床医を育てること」を最大の任務としています。設立直後からCRMでは、卒後臨床研修2年時にCRM地域医療研修をスタートさせ、800人を超える多数の研修医がこの研修を行ってきました。

地元住民・患者さんの動線で、周辺地域全体での研修を行うことにより、単なるへき地診療所研修ではなく、保健（予防事業など）・医療（かかりつけ医との連携、診療所実習、在宅療養など）・福祉（介護など）が一体となった地域包括ケアの習得をすすめています。

そして、診療所におけるプライマリ・ケアから、拠点病院における先進医療まで幅広く研修できる横断的総合医療の習得を目指しています。

基本的事項

1. 実習時期・期間

本人・初期臨床研修病院（派遣元病院）・地域医療研修病院（派遣先病院）・地域医療医学センター（CRM）での調整のもと時期を決定。

期間は標準4週間とする。希望に応じて延長も可能。

2. 実習内容

地域医療拠点病院、施設を選択しそれぞれのプログラムに沿って研修を行う。

希望に応じて複数のユニットの選択も可能。

3. へき地医療拠点病院－診療所ユニット例

- ・ 県立下呂温泉病院－小坂、久々野、東白川村国保診療所
- ・ 市立恵那病院－国保山岡診療所
- ・ 飛騨市民病院－山之村、袖川

4. 研修のオプション

① 地域医療ユニット

診療所や訪問看護ステーション中心に

② 横断的総合診療医育成ユニット

③ 内科ユニット

④ 外科ユニット

⑤ 産科ユニット

⑥ 小児科ユニット

⑦ その他

- * 期間に応じて、各コース同士の組み合わせ可

5. 研修派遣元、派遣先リスト

派遣元

- ・ 岐阜大学医学部附属病院
- ・ 岐阜県総合医療センター
- ・ 岐阜市民病院
- ・ 羽島市民病院
- ・ 中濃厚生病院
- ・ 松波総合病院
- ・ 岐阜赤十字病院
- ・ 岐阜県立多治見病院
- ・ 中部国際医療センター
- ・ 高山赤十字病院

派遣先

- ・ 岐阜県立下呂温泉病院
- ・ 下呂市立金山病院
- ・ 市立恵那病院
- ・ 市立美濃病院
- ・ 郡上市民病院
- ・ 国保上矢作病院
- ・ 飛騨市民病院
- ・ 鷺見病院
- ・ 総合在宅医療クリニック
- ・ 県北西部地域医療センター

※ 派遣元が派遣先病院を協力型臨床研修病院あるいは研修協力施設として登録が必要である。

2026 (R8) 年度CRM地域医療研修可能施設

派遣先病院	派遣元病院									
	岐阜大学 医学部 附属病院	岐阜県 総合医療 センター	岐阜市民 病院	羽島市民 病院	中濃厚生 病院	岐阜 赤十字 病院	松波総合 病院	県立 多治見 病院	中部 国際医療 センター	高山 赤十字 病院
県立下呂温泉病院	●	●	●							
下呂市立金山病院	●	●	●							
市立恵那病院	●	●								
市立美濃病院	●	●	●	●	●	●	●		●	
飛騨市民病院	●	●	●						●	●
鷺見病院	●		●				●		●	
郡上市民病院	●	●	●		●		●		●	
県北西部地域医療センター	●	●	●		●		●			
国保上矢作病院								●		
総合在宅医療クリニック	●		●				●			

6. CRM 地域医療研修手続き

- 派遣元病院ごとに地域研修派遣先病院、研修時期、希望コースをまとめ CRM に通知をください。
- CRM より派遣先研修病院研修責任者に希望内容を通知し日程の調節を行います。
- 派遣先研修担当責任者は、研修担当指導医への周知および希望研修内容の可否決定をお願いします。
- 決定後の変更は、派遣元病院研修責任者と研修医が相談の上、CRM にご連絡ください。

CRM 連絡先

岐阜大学医学部附属地域医療医学センター (CRM)

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1

TEL 058-230-6173(直通) FAX 058-230-6538

担当： 操 奈美 misao.nami.u6@f.gifu-u.ac.jp

白木 育美 shiraki.ikumi.c9@f.gifu-u.ac.jp

仙石 由貴 sengoku.yuki.w9@f.gifu-u.ac.jp

山口 聖次郎 yamaguchi.shojiro.b5@f.gifu-u.ac.jp

小島 健太郎 Kojima.kentaro.p7@f.gifu-u.ac.jp

7. 研修の記録

研修の記録としてポートフォリオを使用してもよい。以下に参考資料を載せる。

診療ポートフォリオシート(070621CRM作成)

年 月 日
研修医氏名
ユニット名:

研修目標

- #1
- #2
- #3
- #4
- #5

1. 今日新しく気づいたこと、出来たこと、したこと	2. 今日うまく行かなかったこと、失敗など
3. 今の気持ち・感情	4. 今後学びたい内容、願望

本日の予定			
6:00		13:00	
7:00		14:00	
8:00		15:00	
9:00		16:00	
10:00		17:00	
11:00		18:00	
12:00		19:00	
		20:00	
		21:00	
		22:00	
		23:00	

患者ID	患者氏名	年齢	性	入・外	初・再	指導医	主訴	病歴	診察	検査	診断	備考
例001	イニシャル	40	M	外来	初診	瀬古	腹痛	糖尿病				

本日学んだこと

- ★
- ★
- ★

達成度: 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10 (←自分で今日の達成度をつけてください)

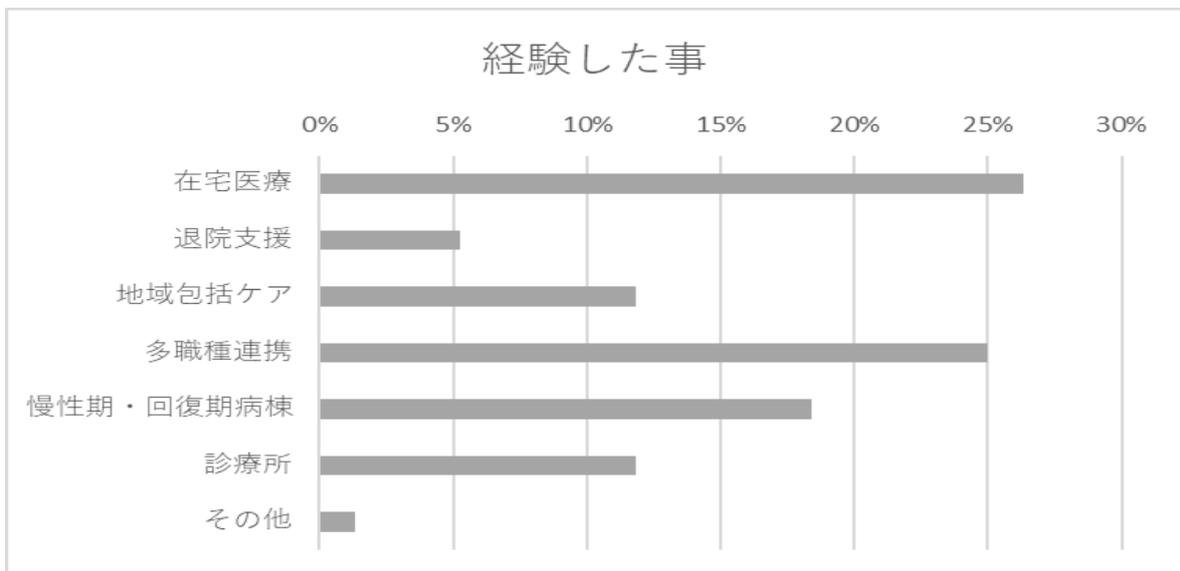
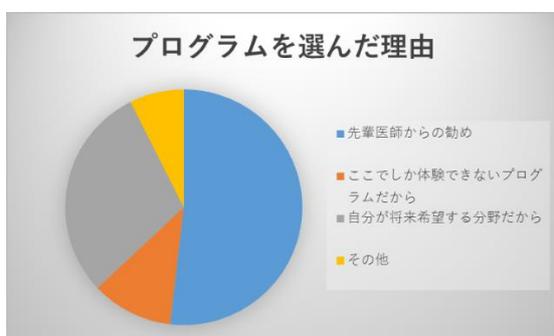
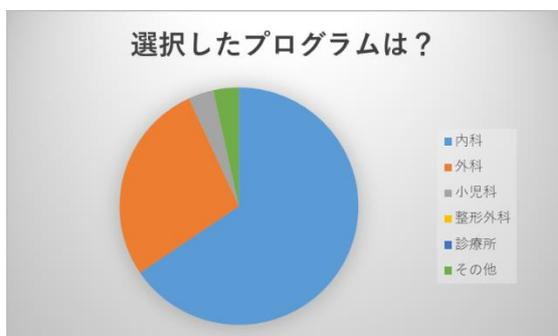
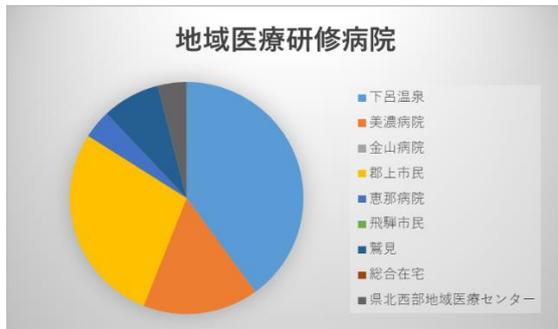
※その日のうちに作成してください。作成にかかる時間は10分以内が目安です。これも研修のひとつです。

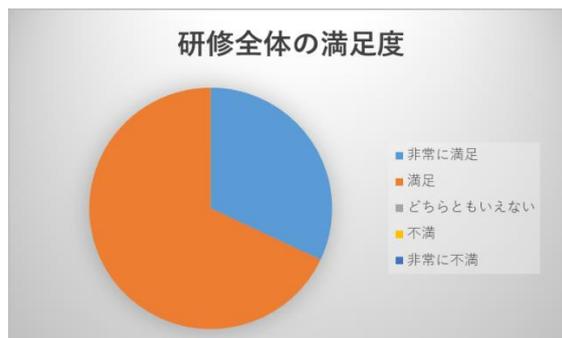
2025（R7）年度地域医療研修の実際

派遣元	研修先病院	研修開始	診療科
県総合医療センター	下呂温泉病院	2024/7/1	整形外科
県総合医療センター	下呂温泉病院	2024/12/23	内科
県総合医療センター	下呂温泉病院	2024/9/23	外科
県総合医療センター	下呂温泉病院	2024/8/26	外科
県総合医療センター	飛騨市民病院	2024/6/3	地域医療
県総合医療センター	飛騨市民病院	2024/6/3	地域医療
県総合医療センター	下呂市立金山病院	2024/11/25	
県総合医療センター	郡上市民病院	2024/10/21	産婦人科
県総合医療センター	郡上市民病院	2025/2/3	内科
県総合医療センター	郡上市民病院	2024/9/23	外科
県総合医療センター	郡上市民病院	2024/8/26	外科
県総合医療センター	郡上市民病院	2025/1/6	内科
県総合医療センター	恵那市立恵那病院	2024/7/29	内科
岐阜大学附属病院	美濃市立美濃病院	2024/9/16	内科
岐阜大学附属病院	総合在宅医療クリニック	2024/4/8	
岐阜大学附属病院	下呂温泉病院	2025/1/27	内科
岐阜大学附属病院	郡上市民病院	2024/9/9	脳神経外科(救急科)
岐阜大学附属病院	郡上市民病院	2024/8/12	外科 2w+内科 2w
岐阜市民病院	下呂温泉病院	2024/11/18	内科
岐阜市民病院	下呂温泉病院	2024/8/26	内科
岐阜市民病院	下呂温泉病院	2024/9/23	内科
岐阜市民病院	下呂温泉病院	2024/7/29	内科
岐阜市民病院	下呂温泉病院	2024/10/21	内科
岐阜市民病院	下呂温泉病院	2024/5/6	外科
岐阜市民病院	下呂温泉病院	2024/6/3	内科
岐阜市民病院	下呂温泉病院	2024/7/1	内科
岐阜市民病院	郡上市民病院	2024/5/6	小児科
岐阜市民病院	郡上市民病院	2024/7/29	外科 2w+内科 2w
岐阜市民病院	郡上市民病院	2024/7/1	脳神経外科
岐阜市民病院	郡上市民病院	2024/6/3	内科
中濃厚生病院	郡上市民病院	2024/8/19	小児科
中濃厚生病院	高鷲診療所	2024/8/5	
中濃厚生病院	白鳥病院	2024/6/10	
中濃厚生病院	白鳥病院	2024/9/16	
中濃厚生病院	白鳥病院	2024/12/2	
中濃厚生病院	市立美濃病院	2024/7/29	内科

中濃厚生病院	市立美濃病院	2025/1/6	整形外科
中濃厚生病院	白鳥病院	2024/9/30	内科
中濃厚生病院	郡上市民病院	2024/4/15	外科
中濃厚生病院	郡上市民病院	2024/5/27	耳鼻咽喉科
中濃厚生病院	郡上市民病院	2024/7/8	産婦人科
中濃厚生病院	郡上市民病院	2024/5/13	内科
中濃厚生病院	郡上市民病院	2024/11/11	脳神経外科
中濃厚生病院	郡上市民病院	2025/1/6	外科
中部国際医療センター	鷺見病院	2024/10/14	内科(4w)
中部国際医療センター	鷺見病院	2024/7/22	外科(4w)
中部国際医療センター	鷺見病院	2024/8/19	内科(4w)
中部国際医療センター	鷺見病院	2024/9/16	内科(4w)
中部国際医療センター	鷺見病院	2024/11/11	外科(2w)+内科(2w)
中部国際医療センター	郡上市民病院	2024/6/24	地域横断 1w+内科 3w
中部国際医療センター	郡上市民病院	2024/9/16	産婦人科(2w)+小児科(2w)
松波総合病院	美濃病院	2024/5/20	内科(4W)
松波総合病院	美濃病院	2024/7/15	外科(4W)
松波総合病院	美濃病院	2024/8/12	内科(4W)
松波総合病院	美濃病院	2024/11/4	内科(4W)
松波総合病院	美濃病院	2024/12/30	内科(4W)
松波総合病院	美濃病院	2025/1/27	内科(4W)
松波総合病院	鷺見病院	2024/6/17	内科(4W)
松波総合病院	白鳥病院	2024/9/9	内科(4W)
松波総合病院	郡上市民病院	2024/10/7	内科(4W)
松波総合病院	郡上市民病院	2024/12/2	内科(4W)
岐阜赤十字病院	市立美濃病院	2024/7/1	内科系(4W)
岐阜赤十字病院	市立美濃病院	2024/12/2	内科系(4W)

CRM 地域医療研修アンケート結果





自由記載欄（2024年度）

病院やプログラムを選んだ点、良かった点

下呂温泉病院

- 慢性期の管理を学ぶことが出来ました。
- 外来診療の基本的な技能の向上、へき地診療所の実態を知れた。
- 手技をやらせていただいた。
- 診療所や在宅をみれた。
- 診療所の外来を担当させていただけた。
- 人が優しくかった。
- 地域医療についての理解が深まった点。
- のびのびと研修できた。
- 総合病院だけではなく診療所の見学もできて良かったです。

郡上市民病院

- 脳神経外科の外来や外科のオペ、ER 対応など様々な分野で働けたのが楽しかった。
- 外科全般を学ぶことができ、麻酔管理等学べたこと。
- 地域医療の実際を学べた。
- 知らない土地で今勤務している病院より小さな規模の病院で研修できたこと。
- 行ったことない、住んだことのない土地へ行ける。

市立美濃病院

- 1ヶ月という短い期間でいなくなる研修医に対して、職種に問わず、温かく受け入れて下さり、とても働きやすい環境が作られていたことで、質問しやすく多くを学ぶことができた。
- 内科研修であったが、志望科に合わせた研修内容に一部変えていただいた。
- 限られた資源の中で診療するという経験ができた。

鷺見病院

- 普段研修病院で見ることの少ない症例を経験できた（外傷、動物咬傷等）

不満であった点

- 救急外来に来る人数が普段よりもかなり少なくて物足りなかった。
- 宿舎があまりきれいではなかった。
- 期間が短い。2ヶ月連続でちょうど良いかと。
- 地域病院における当直も週1回は入りたかったが、派遣元での当直を優先され、地域での当直が2回しかできなかった。

2026 (R8) 年度 地域医療研修施設紹介

岐阜県立下呂温泉病院
病院長：西垣和彦
住所：〒509-2292 岐阜県下呂市森 2211
TEL：TEL 0576-23-2222 FAX：0576-23-2223
URL： http://www.gero-hp.jp/

岐阜県立下呂温泉病院臨床研修プログラムの理念と特徴

岐阜県立下呂温泉病院は天下の3名泉として名高い下呂温泉に位置しています。下呂温泉がある下呂市は南飛騨地域を占め、木曾川の支流である飛騨川の溪谷沿いに集落が点在する典型的な山間地です。当院の診療圏は、下呂市を中心に約4万人が約1200km²の範囲に生活しており、当院はこの広範囲の診療圏を支える地域中核病院です。地域医療の中核となる急性期医療をはじめリハビリテーションや健診事業、在宅医療支援に至るまでの一貫した診療を行い、地域医療に貢献しています。

【研修の理念】

「医療は地域とともにあり」をモットーに、地域に貢献できる医師の育成をめざします。へき地医療に従事していても最先端の医学知識と医療技術が求められます。当院では病む人の心がわかる医師、そして高い医療レベルを習得し地域医療をリードする医師の育成をめざした研修を行います。

【研修の特徴】

当院の特徴は地域中核病院・へき地支援病院であることにより、地域との結びつきが強い病院です。また病床数198床を有する急性期病院でもあり、域内の2次救急医療を担っています。研修期間において、地域医療の精神（医師としてのあり方）とプライマリ・ケアを中心とした医療技術を同時に学ぶことができます。傷病・重症度を問わず、あらゆる病態の救急医療を経験することができます。

■GIO(一般目標)

地域医療を必要とする患者とその家族に対して全人的に対応するために、地域中核病院の役割と診療圏内の病診連携の重要性を理解し、問題解決力と臨床的技能・態度を身につける。

■SBOs (行動目標)

1. 患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活・職業歴、系統的レビュー）の聴取と記録ができる。
2. 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。
3. 患者・家族への適切な指示、指導ができる。

4. 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。
5. 医療保険や介護・福祉支援、その他の公的医療制度を理解し、適切に診療できる。
6. 医の倫理、生命倫理について理解し、適切に行動できる。
7. 救急医療において、指導医の下で適切な初期対応ができる。
8. 日常診療で求められるプライマリ・ケアが、指導医の下で実践できる。

■ LS (研修方略)

- 第1週～・僻地医療への理解を深めるため、地域中核病院である当院の役割と現状・問題点についての講義を受ける。
- ・希望研修科にて指導医と診療にあたり、医師不足地域で働く医師の勤務実態を知る。
 - ・地域中核病院に働く医師に求められる使命や、限られたマンパワーを最大限活用するためのチームワークの重要性を認識する。
 - ・診療圏内の医療機関との病診連携の重要性について理解する。
 - ・地域中核病院における救急医療を経験する。救急搬送された患者について各科医師と共同で診察し、適切な初期対応能力を習得する。
 - ・都市型急性期病院と地方型急性期病院の相違点を理解する。

第2週以降 ・研修医の希望に応じて、希望研修科において上記院内研修を継続する。

ただし、原則1週間は当院診療圏内の診療所において第一線のプライマリ・ケアを体験する。(院外研修)

院内研修では(第1週目より開始)

- ・入院患者を受け持ち、病気のみでなく患者を取り巻く様々な環境を理解して診療にあたる全人的医療の姿勢を身につける。
- ・当院における外来診療・救急診療、各種検査に参加する。
- ・退院調整にあたり、在宅療養に移行した場合の問題点を認識する。
- ・介護保険制度を理解し、受け持ち患者のケア会議などに参加する。
- ・地域医療を行なう上で最も重要な医師としての資質を体得する。

院外研修では

- ・僻地診療所における第一線のプライマリ・ケアを体験する。
- ・僻地診療所での外来診療に参加する。
- ・第一線医療を行う僻地診療所と、それを支える地域中核病院の役割を考える。
- ・地域で行われる予防活動(予防接種や住民健診、啓蒙活動など)に参加する。
- ・長期療養中の在宅療養患者の実態を見学する。(往診への参加)
- ・在宅療養患者を介護する介護者の苦悩を実感する。

なお、希望があれば4週を越える研修も可能である。

選択科における時間外救急業務の経験も可能である。(当院は救急搬送受入れが80%程度)

■EV（評価）

毎週金曜日に行う週間総括で週間のレポート確認を行い、最終金曜日に研修総括を行う。
総括レポートにて自己評価を行い、合わせて指導医評価を行う。

■希望診療科の選択と研修指導体制

希望研修科は内科、外科、整形外科（リハビリテーション科を含む）の中から選択します。希望により、時間外救急研修も可能です。

【研修指導体制】

地域医療研修総括責任者 吉田 実 地域医療部長（整形外科・リハビリテーション科担当）

各診療科指導責任者

内 科 大平敏樹 理事長（総合内科・腎臓内科担当）

西垣和彦 院長（循環器内科担当）

大井康德 部長（循環器内科担当）、岩佐太誠 医師（消化器内科担当）

外 科 天岡 望 副院長兼外科部長

整 形 外 科 池端達也 部長（整形外科担当）、吉田 実 部長（リハビリテーション科担当）

【研修協力医療機関など】

南ひだせせらぎ病院（精神科）、下呂市立小坂診療所、下呂市訪問看護ステーション、下呂市消防本部

【その他】

●宿泊施設 : 病院医師官舎を提供（単身用、世帯者用あり）

●受入研修医 : 同時に2名まで（同一科は同時に1名まで）

●問い合わせ

担 当 : 医 局 吉田 実（臨床研修管理委員会・地域医療研修責任者）

事務局 白金 秀那（経営企画課経営企画担当）

下呂市立金山病院
院長代行：木村美香
住所：〒509-1693 岐阜県下呂市金山町金山 973 番地 6
TEL：0576-32-2121 FAX：0576-34-0006
URL： https://www.city.gero.lg.jp/site/kanayama-hp/

地域医療研修プログラム

当院は周囲の高次の基幹病院からは救急車で1時間はかかる地域にあり、救急医療から在宅医療、住民健診、特養施設のケア等、当地域の医療福祉を総合的に支えています。

一方、内科医2名 外科医2名 小児科医1名と医師数は少なく、generalistであることが求められます。

最近は減少傾向ですが、当院は、ツツガムシ病流行地を診療圏に含み、また、夏季においてはマムシ咬症の発生もあります。



金山病院HP

◆研修施設

下呂市立金山病院
金山サニーランド（特別養護老人施設）
地域開業医

◆研修目標

G I O

1. 地域における救急プライマリ・ケアと高次施設との連携を理解する。
2. 地域において健康問題を解決していくために必要とされる診療技術を理解する。
3. 保健医療福祉の連携による地域包括ケアについて理解する。

S B O

1. 高血圧、糖尿病、高脂血症等の慢性疾患のプライマリ・ケアを理解し治療プランを立てることができる。
2. プライマリ・ケアにおける検査（血液検査、画像検査等）プランを立てることができる。
3. 訪問医療において地域医療資源との連携を理解する。
4. 創傷の治癒について理解し、感染創 褥創等のケアが出来る。
5. 簡単な縫合 止血ができる。
6. 循環管理、呼吸管理の要点を理解し、地域にあたえられた機材の中で実践する。
7. ツツガムシ病に対して診断治療できる。
8. 他職種の業務を理解し、連携をとれる。
9. 介護保険の仕組みを理解し、主治医意見書を記載できる。
10. 患者の生活環境を考慮して疾患の治療だけでなく、自宅で生活する上での問題点を挙げる事が出来る。

LS（研修方略）

救急車があれば、救急のプライマリ・ケアにあたり、午後の急患受診に対応する。

原則として研修期間中に退院する見込みで退院後の受け入れに地域福祉の協力が必要であろう入院患者を割り当てるが、弾力的に運用する。

マムシ咬症、ツツガムシ病の症例あれば随時割り当てる。

適宜ツツガムシや救急疾患についてのレクチャーも行う。

◆評価方法

1. 自己評価

・ポートフォリオを用いて、研修の達成度を自己評価する。

2. 指導医による評価

・ポートフォリオを随時チェックし、最終的にGIO SBOの達成度を評価する。

◆予定表

研修期間 4週間

	曜日	午前研修	午後研修
第1週	月	オリエンテーション、外来診療、救急対応	一般診療、救急対応
	火	訪問リハビリ	一般診療、救急対応
	水	外来診療、救急対応	つつが虫病レクチャー
	木	小児科外来	乳児健診、訪問診療等
	金	外来診療、救急対応	特養診療
	土	休み	休み
	日	休み	休み
第2週以降	月	外来診療、救急対応	特養診療、救急対応
	火	訪問リハビリ、外来診療、救急対応	一般診療、救急対応
	水	外来診療、救急対応	一般診療、救急対応
	木	小児科外来、循環器外来	褥瘡回診、乳児健診、訪問診療等
	金	外来診療、救急対応	地域開業医の訪問診療等
	土	休み	休み
	日	休み	休み

※希望者は、地域包括支援センター相談員やケアマネ等との相談業務にも同行できます。

◆その他

同時期に受け入れ可能人数 1名

研修生住宅完備（2LDK・電化製品、寝具など生活に必要なものは全て揃えております。屋根付き駐車場有 コンビニ・スーパー（GENKY）まで車で3分）

【連絡先】

下呂市立金山病院 事務課 研修担当

509-1693 岐阜県下呂市金山町金山 973 番地 6

TEL 0576-32-2121 FAX 0576-34-0006 Mail to : hosp-kanayama@city.gero.lg.jp

市立恵那病院
管理者：山田誠史
住所：〒509-7201 恵那市大井町 2725
TEL：0573-26-2121 FAX：0573-26-5279
URL： http://www.enahosp.jp/

恵那市地域医療研修プログラム

1. プログラムの目的

プライマリ・ケアに必要な知識・技能・態度を修得するとともに、地域医療についての理解を深め、将来、地域医療を担うことのできる医師を育成するために市立恵那病院(含健診センター)、市立国保山岡診療所、通所介護施設ほほ恵み(市立恵那病院併設)、市立恵那病院訪問看護ステーションにおいて地域医療研修を行う。

市立恵那病院は、恵那市の地域中核病院として、またへき地拠点病院として地域医療支援事業を実施している。地域医療研修ではこれらの支援活動やへき地診療所での診療活動を経験し、プライマリ・ケアの医療環境で必要となる医療技術(身体診察や面接技法などの基本的臨床能力やEBMの手法)を中心とした研修を行う。また、保健センター、介護施設、介護サービス事業所などの地域医療に関わる施設等での研修を通して地域において医療の果たすべき役割について理解することも研修の主な目的としている。

研修は、1ヶ月～3ヶ月コースの研修を行うプログラムを組むこととする。

2. 研修施設・研修協力施設・研修関連施設

市立恵那病院(含健診センター)	恵那市大井町2725番地
市立国保山岡診療所	恵那市山岡町上手向595
通所介護施設ほほ恵み	恵那市大井町2725(市立恵那病院隣)
市立恵那病院 訪問看護ステーション	恵那市大井町2725番地

3. 研修期間

研修期間は、1ヶ月(～3ヶ月)とし、プログラム内容も期間に合わせて柔軟な対応で計画する。

4. プログラム責任者(研修管理者)及び指導者

プログラム責任者	市立恵那病院管理者	山田 誠史
指導者	市立恵那病院 指導責任者	市川 京子
	市立恵那病院	各診療科医師
	市立国保山岡診療所	改田 哲

5. 研修目標

一般目標

地域住民の様々な健康問題に対応できるようにするため、プライマリ・ケアの基本的な診療技術を身につけるとともに、保健・医療・福祉(介護)の知識を理解し、地域の中での総合診療医が担っている役割について理解、認識する。

※総合診療医（地域医療医（自称））とは、“地域の医療ニーズに答えようとする医師であり、患者さんに合わせる医療へ変われる医師”を言う。つまり自分の専門性を提供するのではなく、地域が求めるニーズに合わせることでできる、総合的な診療能力を持った医師を言っている。具体的には総合的外来診療能力や一時的救急能力、総合的入院患者管理能力を併せ持った医師のことを言う。得意分野は以下に列挙した内容であるが、例えば、（１）在宅診療では、包括的診療を提供して、アクセスの保証をする。（２）高齢者医療では、包括的診療を継続的に提供する。（３）病初期診療においては原因臓器未特定期（疾患未分化期）、軽症日常的健康問題に対応する。健診業務へも従事する。（４）地域包括ケアでは、地域資源の調整機能も有してチームの一員として地域包括ケアに参加する。（５）終末期ケアでは、患者およびその家族との間に築き上げた信頼関係を基に、家族を含めて包括的に診て行く。これらを実践する能力を身につけ、かつ実践するのが総合診療医であり、その元になる考え方、方法論、技術の源泉は家庭医療学：Family Medicine、病院総合診療学：(General) Hospital Medicine である。＊＊地域で活躍する医師を特に「地域医療医」と言うのが、ふさわしい名称かと私的には考えています。

行動目標

全期間共通

- 1) 基本的な医療面接技法を用いて患者の解釈モデルを把握することができる。
- 2) 基本的な身体所見が取れる。
- 3) 地域での患者の生活を考慮して問題リストが作成できる。
- 4) 診療で生じる疑問を解決するために必要な医療情報を収集することができる。
- 5) 慢性疾患（高血圧・糖尿病・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患など）の標準的な管理法を述べるができる。
- 6) 臨床倫理の4分割法を使い患者の問題点の整理ができる。
- 7) 他職種の仕事を理解し、尊重する態度を身につける。
- 8) 地域の特性が受療行動や診療経過にどのように影響するかを述べるができる。
- 9) 在宅患者の居住環境を観察し、改善すべき点を指摘できる。
- 10) 在宅で利用できる医療資源を挙げるができる。
- 11) 介護認定の仕組みを理解し、正確な意見書の記載ができる。

6. 学習方法

学習方法	該当行動目標	場所	指導者
1. オリエンテーション	1-11	市立恵那病院	指導医
2. 外来診療	1-6, 8	病院、診療所外来	担当医師
3. 入院診療	1-6	病院病棟	担当医師
4. 問題解決型自己学習	3-6	市立恵那病院	担当医師
5. へき地医療支援活動	8	へき地診療所	担当医師
6. テレビ会議	4, 8	市立恵那病院	担当医師
7. 待合室実習	8	診療所	診療所職員
8. 訪問診療	9-11	在宅患者宅	担当医師
9. 介護認定審査会見学	11		担当医師

10. 保健福祉施設見学会	7	保健福祉施設	施設職員
11. 研修検討会	1-11		指導医

- ・ 外来診療
病院と診療所の設定の違いによる診察の違いを体験する。最初は主として見学し、馴れた頃に診療を行いフィードバックを受ける。
- ・ 入院診療
研修期間中は入院患者の診療も担当し、症例検討に参加する。
- ・ 問題解決型自己学習（患者レビュー、自己学習、カンファレンス）
患者レビュー：診療した患者についてレビューを行い、臨床で生じた疑問を整理する。
自己学習：疑問を解決するための情報を収集し、結果の解釈について考える。
カンファレンス：臨床上の疑問をどのように解決したか報告し討議する。
- ・ へき地医療支援活動
へき地診療所に代診等の支援活動をする医師に同行して支援活動を行う（不定期）。
- ・ テレビ会議（時間外のため自由参加）
EBM スタイルジャーナルクラブ：EBM のステップに基づく抄読会
へき地医療カンファレンス：へき地医療全般について取り扱うカンファレンス
- ・ 保健福祉施設見学会
保健福祉関連施設の職員の業務を体験することにより、各専門職の役割を理解し、保健・医療・福祉の連携の実際を経験する。通所施設、保健施設、特別養護老人施設などを訪問する。市の保健事業に参加できたらしていただく。

7. 研修スケジュール

別紙参照

市立恵那病院での地域医療研修は、病院中心の研修に診療所研修と訪問看護研修、地域での活動に参加する研修を加えたものです。

基本は、患者の診療に当たりながら、この地域の他の医療資源や介護福祉資源を知っていただくことです。

それに地域の他の職種との活動を体験し、多職種による地域包括ケアを学んでいただきます。

8. 評価

研修内容を記録し指導医からの形成的評価を行う。終了時に総括的評価を行う。

9. その他
- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 受け入れ研修医数 | 毎月 2～3 名 |
| (2) 宿泊（希望者のみ） | 市立恵那病院 宿舎あり |

10. 問い合わせ
- 市立恵那病院総務課（担当 加藤瑞枝）
〒509-7201 恵那市大井町 2 7 2 5
☎0573-26-2121 FAX:0573-26-5279
e-mail: 加藤 瑞枝 mizuek@jadecom.jp

市立恵那病院地域医療研修予定表（先生）							
中山道恵那の地域包括ケアを知ろう！！							
		／（月）	／（火）	／（水）	／（木）	／（金）	／（土）
第 1 週	午前	①オリエンテーション	④朝の雑誌抄読会 ⑤ほほ恵み回診・回復期リハビリ回診	⑥救急・外来研修	⑥救急・外来研修	⑥救急・外来研修	⑥救急・外来研修
	午後	②地域連携室研修	②地域連携室研修	⑦訪問看護研修	⑦訪問看護研修	⑨NST勉強会・回診、指導医との病棟回診	
	夕方	③一日のレビュー	③一日のレビュー	⑧内科症例検討会・一日のレビュー	③一日のレビュー ※TV会議	⑩医局会	
		／（月）	／（火）	／（水）	／（木）	／（金）	／（土）
第 2 週	午前	⑥救急・外来研修	④朝の雑誌抄読会 ⑤ほほ恵み回診・回復期リハビリ回診	⑥救急・外来研修	⑤ほほ恵み回診・回復期リハビリ回診	⑥救急・外来研修	休み
	午後	⑪薬剤部研修	⑫山岡診療所研修：細江医師引率	⑥訪問看護研修	⑥訪問看護研修	⑬第2金曜日：山岡診療所の定期往診	
	夕方	③一日のレビュー	③一日のレビュー	⑧内科症例検討会・一日のレビュー	③救急症例・事例検討会 TV会議	⑩医局会	
		／（月）	／（火）	／（水）	／（木）	／（金）	／（土）
第 3 週	午前	⑥救急・外来研修	④朝の雑誌抄読会 ⑤ほほ恵み回診・回復期リハビリ回診	⑥救急・外来研修	⑥訪問看護研修	⑥救急・外来研修	⑥救急・外来研修
	午後	⑪薬剤部研修	②地域連携室研修	⑬第3水曜日：山岡診療所の定期往診	②訪問看護研修	⑨NST勉強会・回診、指導医との病棟回診	
	夕方	③一日のレビュー	③一日のレビュー	⑧内科症例検討会・一日のレビュー	③一日のレビュー ※TV会議	⑩医局会	
		／（月）	／（火）	／（水）	／（木）	／（金）	／（土）
第 4 週	午前	⑥救急・外来研修	④朝の雑誌抄読会 ⑤ほほ恵み回診・回復期リハビリ回診	⑭老健施設研修	⑤ほほ恵み回診・回復期リハビリ回診	⑥救急・外来研修	休み
	午後	⑪薬剤部研修	⑫山岡診療所研修：細江医師引率	⑭老健施設研修	⑥訪問看護研修	⑨NST勉強会・回診、指導医との病棟回診	
	夕方	③一日のレビュー	③一日のレビュー	⑧内科症例検討会・一日のレビュー	③一日のレビュー ※TV会議	⑩医局会	

※禁煙外来（毎週金曜日午後）、褥瘡回診、物忘れ外来（毎週水金曜日）、ペースメーカー外来（毎週木曜日）があります。

随時、見学、同行が可能です。

※外科・整形外科での研修を希望される場合：午後の手術に入ってくださいことも可能です。その他乳腺外来などの専門外来もあります。

※②地域連携室研修：院内及び地域での多職種による連携を知り、研修する。

※朝の抄読会：8:00～

※TV会議：不定期ですが、岐阜大学からのオンラインでの学習会があります。

※研修期間中に、予防接種、DM教室、老人クラブ（サロン活動）訪問などがあれば、調整して参加、出席していただきます。

※産業医活動：機会があれば参加していただきます（山岡診療所、恵那病院、担当企業、団体）。

※国民健康保険山岡診療所：半日見学、往診同行を研修中に行います。

市立美濃病院
病院長：阪本 研一
住所：〒501-3746 美濃市中央4丁目3番地
TEL：0575-33-1221 FAX：0575-33-4724
URL： http://minohospital.jp/

美濃病院 “うだつ研修” の特徴

“うだつの上がる研修”を紹介します

少子高齢化時代を迎え大きく変化する現場の医療ニーズに、限られた社会的資源で質量共に効率よく対応することが求められています。未来の医療を担う若き医師が現場のニーズに応え、個としては良好なライフワークバランスの中で働きがいを楽しむためには、細分化された専門的スキルだけではなく、今まで以上に総合的な臨床力と見識が必要とされます。当院の医師の多くは総合医関連の資格を有し総合診療と専門診療をバランス良く提供する働き方をしています。

美濃病院は岐阜市から1時間以内と比較的近くにありながら、既に10～20年後の岐阜医療圏はじめ全国の医療圏が置かれる社会構造に達した地域にあります。人口約2万人の美濃地区の医療ニーズに対して、地域を診る総合診療医としての役割と専門医としての役割をバランス良く提供している典型的な専門併設型の地域医療支援病院です。美濃病院が位置する中濃医療圏は岐阜県の5つの医療圏の中で最も医師の少ない医療圏でもあります。

美濃病院での研修目標は、限られた医師数と医療資源で地域の医療ニーズに応えるために必要不可欠な総合臨床と専門臨床をバランス良く提供する働き方と医療供給システムを学ぶことにあります。病院は地域医療を守るために“期待される医師像”を明確にしています。研修を通して典型的な地域密着型病院での働き方を体験していただけます。



美濃市のシンボル 江戸の豪商たちが、富と粋を競った「うだつ」

“うだつ”とは、屋根の両端にある防火壁。江戸時代、類焼を防ぐ工夫として、切妻平入りの町屋の両端の妻を一段高くした“うだつ”が設けられた。しかし、この“うだつ”は、一丁前の店を構えなければ上げられません。豪商たちは、“うだつ”を上げることはもとより、富と粋の象徴としてその意匠も競い合いました。そんな“うだつ”のある家も年々減り、今最も多く残っているのは美濃市常盤町・相生町・本住町・泉町です。国の重要文化財として指定されている家もあります。

1. 基本カリキュラムの種類と特徴

① 地域診療ユニット（選択研修）

1) 内科系

内科外来は専門外来と総合外来に二分されています。常勤・非常勤の専門医数名で編成される“みの糖尿病センター”では中濃地区の糖尿病治療の中核施設として専門医療を提供しています。同じく、“みの内視鏡センター”では年間約 3000 件の内視鏡検査を行っており、健診も含めて地域がん診療に貢献しています。総合外来においては、幅広いプライマリーケア能力を要する研修機会に恵まれています。

2) 外科系

常勤医師 2 名で年間約 200 件の手術を施行しています。消化器一般外科の手術が中心で内視鏡外科手術が全身麻酔総件数の約 1/3 を占めており、胃癌・大腸癌をはじめ幅広く行われています。地域医療から先進分野までの幅広い外科研修が可能です。医師数が少ないため実技参加の機会に恵まれています。

3) 整形外科系

常勤医師 2 名で年間 300～350 件の手術を施行しています。近隣に救急センターがあるため外傷よりも脊椎、関節の変性疾患手術の割合が多いのが特徴です。脊椎疾患では腰部脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアに対する顕微鏡を用いた低侵襲手術を、関節疾患では関節鏡手術や人工関節置換術を行っています。地域密着型病院のため診断から治療、術後フォローアップまでを一貫して行うことができます。医師数が少ないため実技参加の機会に恵まれています。

4) 横断研修型

上記の 3 つの診療科のうち複数を組み合わせて、柔軟に地域総合診療医を育成します。当院の手術件数は年間約 800 件あり、入院病床 122 床の小規模病院ながら最小限のスタッフで密度の濃い外科系治療を効率的に施行しています。外科、整形外科の両手術を対象とした手術研修も選択できます。

② 地域医療ユニット（必須研修）

すべての入院患者に MSW や看護部門を中心とした多職種協働による入退院支援を手厚く行い、円滑に在宅治療へ移行できるようにサポートしています。院内に訪問看護ステーション“清流”を併設しており、在宅移行後は地域の診療所と連携して地域循環型の医療をサポートしています。以下の必須研修を個々の症例の流れを重視した連続性のあるプログラムにより病院内外で実地研修することで、地域医療を構成する当院、訪問看護ステーション、診療所の連携モデルを学ぶことができます。また、自治体病院として展開している予防医療も研修していただけます。

1) 病診連携

「一般外来」を介して地域における病院医師の役割を学ぶことができます。

原則最低週 4 枠の担当をプログラム化しております。

2) 退院支援

3) 在宅医療（診療所研修・訪問看護）

最低 1 日以上（半日×2 回以上）の指導医同伴での研修をプログラム化しております。

4) 健診

2. 研修カリキュラムの選択と調整

原則として「地域診療ユニット」を1週間単位で選択することとなります。希望により4週間同じ診療科もしくは複数の診療科を横断的に組み合わせることも可能です。「地域医療ユニット」の各項目は症例に応じて随時スケジューリングすることで、幅広い研修を行うことが可能とします。スケジュール調整は、研修医とプログラム責任者が行います。

また、「地域診療ユニット」では、時間内救急医療とNSTほか多職種協働のチーム医療実習を行います。希望があれば、指導医のもとに平日当直の副直研修を行うことができます。

2026（令和8年）度 研修カリキュラム



うだつの上がる町並み（伝統的建造物群保存地区）

1. 受け入れ対象病院（登録されている派遣元病院）

協力型臨床研修病院	岐阜大学医学部附属病院
研修協力施設	岐阜大学医学部附属病院
	岐阜県総合医療センター
	羽島市民病院
	中濃厚生病院
	岐阜市民病院
	岐阜赤十字病院
	松波総合病院
	中部国際医療センター

2. 研修期間 4週間 ± α

3. 指導体制

プログラム責任者兼指導者

美濃市立美濃病院 内科部長

藤川 耕

総合診療専門医・指導医

日本プライマリ・ケア連合学会 認定医

地域包括医療・ケア認定医

日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医

指導者 同 院長兼外科部長

阪本研一

日本外科学会 指導医・専門医

日本消化器外科学会 指導医・専門医

- 日本消化器病学会 専門医
地域包括医療・ケア認定医
日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医
日本病院会 病院総合医
- 同 副院長兼内科部長 横家正樹
日本循環器学会 専門医
日本内科学会 認定内科医
日本心臓リハビリテーション学会 指導士・評議員
地域包括医療・ケア認定医
日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医
日本病院会 病院総合医
- 同 外科部長 橋本高志
日本消化器外科学会 認定医
日本病院会 病院総合医
- 同 整形外科部長 大橋 稔
日本整形外科学会 専門医・指導医
日本整形外科学会脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本整形外科学会スポーツ医
日本スポーツ協会公認スポーツドクター
- 同 内科部長 高橋敬治
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医
地域包括医療・ケア認定医
日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医
日本病院会 病院総合医
- 同 内科部長 宮崎恒起
地域包括ケア医療・ケア認定医
日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医
- 同 内科医師 児玉篤典
地域包括医療・ケア認定医
日本地域医療学会 地域総合診療専門医・指導医
日本病院会 病院総合医
- 坂口康道
日本整形外科学会 専門医
日本整形外科学会脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会 指導医
日本リウマチ学会 専門医

研修協力施設

総合在宅医療クリニックみの 密山要用

日本プライマリ・ケア連合学会

家庭医療専門医・指導医

4. 一般目標

将来の専門分野にかかわらず地域医療の果すべき社会的役割を認識し、地域の医療ニーズに応えるために必要な医師の資質と医療システムを理解し、基本的な診療を実践する。

5. 行動目標

(プロフェッショナリズム)

- 1) 美濃病院の運営方針を理解できる
- 2) 自己研鑽の習慣を持ち続け、臨床上の問題点を解決するために情報を収集できる

(患者ニーズ)

- 3) 患者及びその家族と良好な信頼関係を築くことができる
- 4) 患者中心の立場で行動し真摯な姿勢で診療を行うことができる

(患者マネジメント)

- 5) 地域性を理解した上で専門性の高い医療と地域医療をバランスよく提供できる
- 6) 病診連携・退院支援・医療ネットワークを理解して適切に行動できる

(チーム医療)

- 7) 他の医師や他職種スタッフと協調し、リーダーシップを発揮できる
- 8) 上司の指示のもと組織的に業務を遂行できる

(問題対応能力)

- 9) 医師として一定量の業務をコンスタントに遂行できる
- 10) 業務効率・経営効率を考慮して業務を遂行できる

6. その他

受け入れ研修医数 毎月2名 (各選択研修プログラム1名まで)
宿 泊 病院敷地内に官舎2部屋あり

7. カリキュラム・スケジュール (2026/R8 版)

8. 詳細は美濃病院ホームページ内 「前期臨床研修」 をご覧ください。

<http://minohospital.jp/>

① 地域診療ユニット

1) 内科系の週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション(初日) ※院内見学等 指導医と研修計画の確認(初日) 外来診療	指導医と病棟回診 外来診療	指導医と病棟回診 外来診療	指導医と病棟回診 外来診療	訪問看護「清流」 在宅療養患者宅の訪問
午後	各部門担当者との交流会 内科カンファレンス (15:00~) 入院患者診察	診療所訪問診療 (総合在宅医療クリニックのみ)	診療所訪問診療 (美濃市立美濃病院)	救急患者診察 入院患者診察	救急患者診察 入院患者診察
夕方~	振り返り	振り返り 美濃症例検討会	振り返り	振り返り	振り返り 反省会 (最終日)

指導医とは藤川内科診療部長を指す
振り返りとはポートフォリオ作成後指導医が確認を行う
備考 最終日は指導医と共に研修全体の評価を行う
副主治医として主治医とともに診療する
地域医療研修(必須研修)には適宜参加する

2) 外科系の週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション(初日) ※院内見学等 指導医と研修計画の確認(初日) 外来診療	指導医と病棟回診 外来診療	指導医と病棟回診 手術	指導医と病棟回診 外来診療	指導医と病棟回診 外来診療
午後	手術(随時) ※救急患者診察	診療所訪問診療 (総合在宅医療クリニックのみ)	手術	手術(随時) ※救急患者診察	訪問看護「清流」 在宅療養患者宅の訪問
夕方~	振り返り	振り返り 美濃症例検討会	振り返り	振り返り	振り返り 反省会 (最終日)

指導医とは阪本外科診療部長を指す
振り返りとはポートフォリオ作成後指導医が確認を行う
備考 最終日は指導医と共に研修全体の評価を行う
副主治医として主治医とともに診療する
地域医療研修(必須研修)には適宜参加する

3) 整形外科系の週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	オリエンテーション(初日) ※院内見学等 指導医と研修計画の確認(初日) 外来診療	指導医と病棟回診 手術	指導医と病棟回診 外来診療	指導医と病棟回診 外来診療	指導医と病棟回診 外来診療
午後	手術(随時) ※救急患者診察	手術	診療所訪問診療 (美濃市立美濃病院)	訪問看護「清流」 在宅療養患者宅の訪問	手術(随時) ※救急患者診察
夕方~	振り返り	振り返り 美濃症例検討会	振り返り	振り返り	振り返り 反省会 (最終日)

指導医とは大橋整形外科診療部長を指す
振り返りとはポートフォリオ作成後指導医が確認を行う
備考 最終日は指導医と共に研修全体の評価を行う
副主治医として主治医とともに診療する
地域医療研修(必須研修)には適宜参加する

郡上市民病院
病院長：片桐義文
住所：〒501-4222 郡上市八幡町島谷 1261 番地
TEL：0575-67-1611 FAX：0575-65-6005
URL： http://www.gujo-hospital.jp/

郡上市民病院 【若鮎研修】 プログラム

★ 郡上市民病院の紹介 ★

郡上市民病院は、1962年に日本初の医師会立病院、郡上臨床センターとして開設し1976年に郡上中央病院となり、平成の合併で郡上市が誕生し、郡上市民病院となりました。2006年に現在の病院に全面移転し地上6階、地下1階で120床（一般100、療養20）の病床を有し、郡上地域の急性期の中心を担い、へき地拠点病院、郡上市内唯一の分娩取扱施設です。

「郡上おどり」は安土桃山時代の後期から400年以上続く歴史ある踊りで、7月中旬から9月上旬まで行われ、特に盂蘭盆会（うらぼんえ）の8月13日から16日までの4日間は徹夜おどりで朝までお囃子が鳴り続け、毎年8月下旬には病院内の盆踊り大会も開催しています。また冬季はスキー、スノボなどウィンタースポーツが盛んで、高鷲、白鳥、明宝などの多くのスキー場が市内にあり、四季折々の楽しみ方ができるため、観光が盛んで年間625万人の観光客が郡上を訪れます。清流長良川は日本有数の鮎の産地で、毎年6月から10月までの鮎釣りのシーズンになると多くの釣り人が訪れます。また郡上市内の鮎は、全国の鮎コンクールで連続して日本一になるほど、美味しく育っています。



郡上市民病院での研修は、当院での初期研修にあたり、透き通った目で研修し、地域医療に従事してもらいたい気持ちを込めて、【若鮎】研修と名付けました。

★研修の特徴★



東海環状自動車道の岐阜インター（大学病院北）の開通により、岐阜市内から郡上市民病院まで45分程度と交通の便もよくなっておりますが、中山間地が多く、広範囲な郡上地区の2次救急医療を担いながら、へき地診療、健康診断、リハビリテーション、訪問介護、在宅訪問医療までおこなう地域密着型病院です。郡上市内唯一の分娩取扱施設で、母乳育児のWHO認定、赤ちゃんにやさしい病院BFH (Baby Friendly Hospital) です。専門分化した病院研修では経験できない、全人的な医療、地域と密着した病院・医療を体験して研修してください。

（コロナ禍で開催されなかった郡上踊りは2023年より再開されています）

地域医療研修プログラムの目標と特徴

1) 到達目標：地域密着型病院の意義について理解し、その役割を実践する。

当プログラムでは、急性期医療と地域医療研修の中で、専門分野だけでなく、地域との連携、老人施設実習、訪問往診、訪問看護、リハビリテーションなど医療介護福祉が一体となった地域医療を修得する。

2) プログラムの特徴

- ① 急性期及び入院医療を中心とした一次医療から二次医療といった医療軸と、保健福祉・在宅診療を含めた地域ケア軸とで広がる面を幅広く実体験できる。
- ② 施設内ではコメディカルスタッフとのチーム医療を、施設外では病々連携、病診連携といった医療機関同士のネットワークあるいは、消防本部との救急搬送事例検討、保健福祉とのネットワークの中での医療人として自身を再確認することができる。
- ③ 外来診療から入院医療あるいは地域社会の中での生活も含めた視点で目の前の患者に向きあう能力向上を目指し、その基礎的知識・態度・技能を獲得できる。
- ④ 郡上市内の老人健康施設、関市のへき地診療所の体験ができる。
- ⑤ 地域での夜間休日の救急診療を経験できる。

3) 基本カリキュラム

【各診療科研修】

各診療科ユニットでの専門的な治療、地域に密着した業務を研修する。

【横断型地域医療研修】診療科研修と並行で研修

院外では訪問往診診療、訪問介護、検診など各科横断的な在宅業務を研修する。

特別養護老人ホーム研修、地域診療所研修またはへき地診療所研修を行う。

院内では夜間休日の診療体験、救急隊事後検証会、褥瘡、NST、健康診断など他職種とのチーム医療について研修する。

救急搬送時には診療科研修以外に、救急対応を行うことができる。

4) カリキュラムの内容

I 【各診療科研修】

- ① 外来診療実習（各診療科週間予定表を参照）
 - A) 希望する科の外来診療に従事する。
 - B) 外来診療能力を評価しながらステップアップ方式にて研修する。
- ② 救急医療実習（院内横断型）
 - A) 特に初期救急に参加し、その後の継続的ケアも含めて体験する。
 - B) 救急隊との救急事後検証会に参加し初期治療を習得する。
 - C) ドクターヘリ搬送症例について研修する。
- ③ 入院診療実習（各診療科週間予定表を参照）
 - A) 急性期病棟、療養型病棟を主治医とともに担当し、幅広い患者層を体験する。
 - B) 当院で行われる手術・検査に参加し患者マネジメントを含めその状況を理解する。
 - C) 各科指導医とともに夜間休日の地域救急体制を体験する。
- ④ 検査実習
 - A) 各種検査（内視鏡、生理検査、エコー、透視下処置等）の所見の確認とそれに関連した患者マネジメントを学ぶ。
 - B) 指導医または認定技師の指導の下、実検査手技も習得する。

- ⑤ 症例検討会、各種カンファレンス
- A) 各診療科の症例カンファレンスに参加し、指導医とともに検討を行う。
 - B) 各種検査の所見の確認とそれに関連した患者マネージメントを学ぶ。
 - C) 院内勉強会、各種委員会検討会（感染、医療安全など）に参加しチーム医療を学ぶ。
 - D) 救急メディカルコントロールで行う救急事後検証会に参加する。
 - E) 褥瘡、NST 回診など他職種と一緒に病棟ラウンドを行う。
 - F) 研修中に経験した症例検討を、**医局会内の研修委員会で報告する。**

II 【横断型地域医療研修】診療科研修と並行研修でおこなう。

- ① 健診（検診）・健診レビュー実習（院内横断型）
- A) 保健事業、一般健診（検診）に参加し、その意義と医師の役割について学ぶ。
 - B) 検診後の要精査事例に関してもレビューする。
 - C) 予防接種実習について学ぶ。（コロナワクチンなども含む）
- ② 在宅医療（院外横断型）
- A) 訪問診療に同行し、在宅診療を学ぶ。
 - B) 訪問介護、訪問リハビリテーション同行し、在宅ケア看護を学ぶ。
- ③ 施設実習（院外横断型）
- A) 特別養護老人ホーム（郡上市立 郡上偕楽園）研修
医療・介護・福祉のつながりを学ぶ。
 - B) 地域診療所研修（希望者、事前確認必要）
郡上市内の個人診療所において地域の一次医療を学ぶ。
 - C) へき地診療所研修（希望者）
板取診療所（関市）においてへき地診療所研修を行う。
- ・ **指導医のもと地域での夜間休日の副直研修をおこなう**（研修期間中に、休日 1 回、平日 2 回程度、指導医と相談。副直明けは、研修元病院の当直明けと同様に対応する）。
 - ・ 受け持ち患者退院後の地域社会での医療サービス体制を十分理解しながら、院外（訪問診療）での医療も体験する。

5) 研修ユニットの選択

研修医は原則として以下の基準で各科ユニットを選択し、研修診療科の医師として所属する。ユニットは 1 週間単位で選択するが、個人の希望を指導責任者との相談のうえ研修スケジュールの組み合わせを行い、柔軟に対応する。

1. 初期臨床研修で今まで経験できなかった分野
2. 経験したが到達目標からみて十分でない分野
3. 他施設では経験できないと思われる分野

各科研修ユニットに加え、横断型地域研修は各科のどのユニットからも参加することとする。

6) 研修評価

- ① 主に形成的評価
- ② 日々の振り返り、週間振り返り、全体振り返り
- ③ 360° 評価
- ④ 評価項目にしたがって自己および他者評価
- ⑤ 研修手帳、EPOC を用いた自己評価及び指導医評価も随時行う。
- ⑥ 研修委員会（月 1 回）にて研修報告、症例報告する。（研修員会は医局会と同時開催）

7) 研修記録

- (ア) 予定表および研修事項を記載する。
- (イ) 研修期間全般を通じて学んだことをポートフォリオとし提出する。
- (ウ) 研修医アンケートを要請に応じ提出する。

指導体制

郡上市民病院 研修管理プログラム責任者 院長 片桐義文
 研修委員会 指導責任者 循環器内科部長 畑佐匡紀

各診療科ユニット指導医

外科ユニット	外科部長	岡田将直
内科ユニット	内科部長	松野康成
整形外科ユニット	副院長（整形外科）	篠崎昌人
産婦人科ユニット	副院長（産婦人科）	丹羽憲司
小児科ユニット	小児科部長	橋本和幸
耳鼻科ユニット	耳鼻科医長	加藤史門
心療内科（精神科）ユニット	精神科部長	森清慎一
救急科	救急科長	松友将純

救急科は、救急隊との直中 PHS を携帯し、時間内救急の初療を行う。

脳神経外科、泌尿器科は外来診療見学可

院外診療

郡上借楽園（特別養護老人ホーム）
 訪問看護ステーション
 関市板取診療所（へき地診療所）

8) その他

宿泊施設：医師官舎（独身用、家族用）を提供（病院まで徒歩 10-15 分）
 冷暖房、家具、洗面・炊事・日用品・駐車場完備
 受け入れ研修医：3 名（診療科が重ならないように調整します）

地域横断型研修 診療科研修と並行研修で行います。

	月	火	水	木	金	土	日
午前	在宅、院内リハビリ テーション 診療所研修	人間ドック 健康診断	在宅、院内リハビリ テーション 診療所研修	人間ドック 禁煙外来	診療所研修		
午後	健康診断 訪問往診	訪問往診 特別養護老人ホーム グループホーム 往診	NST回診 訪問往診	褥瘡回診 訪問往診 板取診療所(2/月)	訪問往診 訪問介護 がん検診		
その他	健康診断、一般検診はスケジュールに変更があります。 希望により、地域開業医、へき地診療所研修が可能です。(事前確認必要) 2ヶ月に1回の救急症例検討会を消防本部で実施 ICLS活動						
備考	訪問往診、訪問介護は在宅医療検討委員会によりスケジュール管理しており、患者さんのデイケア、グループ活動などと、主治医の時間調整が必要です。						

外科ユニット

まむし刺咬症から低侵襲手術を含む一般外科研修が可能

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来診療 入院診療(回診)	外来診療 入院診療 検診	外来診療 入院診療 褥瘡回診	外来診療 入院診療 肛門外来	外来診療 入院診療		
午後	手術	手術 マンモ読影	手術 NST回診	手術 血管外来(2/月)	カンファレンス マンモ読影		
その他	希望があれば外科系当直医の場合は一緒に副直、緊急手術の際の助手研修も可						
備考	毎週金曜日に外科カンファレンス マンモグラフィ読影医による検討会(火、金) 原則として助手として手術に参加する						

内科ユニット

地域医療研修中でありながら、循環器・消化器・呼吸器・内分泌糖尿病・透析・在宅医療など、すべてのジャンルの研修が可能です。

	月	火	水	木	金	土・日
午前	入院患者診察 透析回診 外来診療	透析回診 胃カメラ	外来診察 胃カメラ	外来診療	初診・救急 外来診察	
午後	入院患者診察 糖尿病専門外来 (1/月) 内科カンファレンス	入院患者診察 腹部エコー 心エコー 大腸カメラ	入院患者診察 心臓カテーテル シャントPTA	入院患者診察 腹部エコー 心エコー 大腸カメラ	入院患者診察 腹部エコー 心エコー 救急外来診察	
備考	訪問診療同行/週1回 希望により内科系当直医の場合は一緒に当直(祝日含む)					

産婦人科ユニット

郡上市内唯一の分娩取扱施設で、Baby Friendly Hospital認定されています

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来診察 病棟回診	外来診察 病棟回診	外来診察 病棟回診	外来診察 病棟回診	外来診察 病棟回診		
午後	手術 (円錐術等) 精密検査	産後1ヶ月健診 カンファレンス	手術 (主に帝王切開)	手術 (開腹) 精密検査	腹腔鏡手術 子宮癌検診		
その他	婦人科腫瘍専門医、細胞診専門医が常勤で、婦人科細胞診は術中迅速検査を含め院内で検査診断しています						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・分娩の立ち会い(緊急帝王切開含む):日勤帯は、全例立ち合っています ・休日/夜間の分娩や急患・緊急手術:希望があれば呼び出し立ち合っています 						

整形外科ユニット 高齢者の骨折、大学病院との協力による脊椎疾患など経験します

	月	火	水	木	金	土	日
午前	初診診察 救急患者対応	外来診察 (初・再診)	外来診察 (初・再診)	病棟回診	病棟回診		
午後	カンファレンス 回診 脊椎検査	手術	手術	手術	手術		
備考	夜間・土日については希望あれば指導医の日当直、宅直と共に救急患者対応する						

小児科ユニット 一般診療とともに発達外来の診療の経験ができます

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療		
午後	病棟回診 予防接種 発達外来	病棟回診 一ヶ月健診	病棟回診 乳幼児健診	病棟回診 予防接種 発達外来	病棟回診 予防接種 アレルギー外来 (月1回)		
その他	時間外救急は随時診療						

耳鼻咽喉科ユニット

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察		
午後	外来診察	学校検診 (春期)	手術 学校検診 (春期)	外来診察	学校検診 (春期)		

心療内科(精神科)ユニット

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来(初・再診)	外来(初・再診)	休診	外来(初・再診) 特別養護老人ホーム 往診(月2回)	外来(初・再診)		
午後	病棟回診・リエゾン 漢方外来 (完全予約制)	病棟回診・リエゾン 特別養護老人ホーム 往診(月2回)	漢方外来 (完全予約制)	病棟回診・リエゾン	病棟回診・リエゾン		
備考	スタッフ:医師1名(精神保健指定医)・臨床心理士(常勤1名/非常勤2名)精神保健指導非常勤医師1名						
	【以下のことも行っています】 ・漢方薬の処方 ・認知症画像診断・・・頭部MRI・SPECT・VSRAD ・臨床心理士による心理療法など・・・家族、人間関係のカウンセリング・不登校児童生徒及び親のカウンセリング・発達相談・子どものプレイセラピー・箱庭療法・各種心理検査						

国民健康保険上矢作病院
病院長：西脇 巨記
住所：〒509-7506 岐阜県恵那市上矢作町3 1 1 1 - 2
TEL：0573-47-2211
URL： http://www.kamiyahagi-hosp.jp/

I. 地域医療研修の目的

プライマリ・ケアを中心として、全ての臨床医に求められる基礎的能力を身につけることを目的とした必修科目の研修です。

また、研修期間では、医療技術を習得することのみに目を奪われることなく、患者とその家族との間に適切な人間関係を確立すること、他の医師、職員との間に信頼関係を築いて医療に当たれること、医療費負担、社会福祉サービスを含め患者の性格について十分理解した上で「患者の立場に立って」医療に当たれる能力を身につけることも重要な目的としています。

II. 研修の特徴

【行動目標】医療の現場の経験

地域医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するため、

- 1 へき地医療を担う医療機関の体制、機能（病診連携も含む）を理解し、実践する。
- 2 かかりつけ医の役割を理解し、実践する。

【経験目標】

- 1 予防医療と健診の重要性と意義を述べることができる。
- 2 健診の種類、項目、費用負担について述べるができる。
- 3 適切な問診により患者の生活習慣の問題点をあげることができる。
- 4 患者の異常所見を指摘し、記録することができる。
- 5 健診項目の結果から判断して、患者をある一定の基準で振り分けることができる。
- 6 患者に対して適切な指導をすることができる。
- 7 訪問診療を体験する。

III. 臨床研修協力施設情報

(1) 研修期間：1ヶ月間研修

(2) 受け入れ研修医数：毎月1～3名

- ・国民健康保険上矢作病院への事前申込が必要
- ・複数の病院から研修医を受け入れているため、研修ができない月もあります。

(3) 宿泊：国民健康保険上矢作病院徒歩3分圏内に宿舎施設あり

IV. プログラム指導體制

プログラム責任者 : 岐阜県立多治見病院
循環器内科部長兼臨床研修センター長 堀部 秀樹

プログラム指導責任者 : 岐阜県立多治見病院
循環器内科部長兼臨床研修センター長 堀部 秀樹

プログラム指導医 : 国民健康保険上矢作病院病院長 西脇 巨記
国民健康保険上矢作病院 副病院長 佐本 洋介

V. その他

問い合わせ先 : 事務局 総務課総務研修担当 菊川 彩

e-mail info@tajimi-hospital.jp

地域医療研修 研修医週間予定表

第1週目 (/ - /)

		月曜日 月 日	火曜日 月 日	水曜日 月 日	木曜日 月 日	金曜日 月 日
先生	午前	オリエンテーション	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	診療放射線科 病棟指示	訪問看護ステーション	リハビリテーション科	地域研修	訪問診療
先生	午前	オリエンテーション	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	診療放射線科 病棟指示	訪問診療	訪問診療	地域研修	訪問看護ステーション
先生	午前	オリエンテーション	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	診療放射線科 病棟指示	国保中原診療所	訪問看護ステーション	地域研修	リハビリテーション科

第2週目 (/ - /)

		月曜日 月 日	火曜日 月 日	水曜日 月 日	木曜日 月 日	金曜日 月 日
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	訪問診療	国保中原診療所	訪問看護ステーション	地域研修	リハビリテーション科 手術15時
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	リハビリテーション科	訪問看護ステーション	リハビリテーション科	地域研修	訪問診療 手術15時
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	訪問看護ステーション	訪問診療	訪問診療	地域研修	訪問看護ステーション 手術15時

第3週目 (/ - /)

		月曜日 月 日	火曜日 月 日	水曜日 月 日	木曜日 月 日	金曜日 月 日
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	手術 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	訪問看護ステーション	訪問診療	訪問診療	地域研修	訪問看護ステーション
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	手術 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	訪問診療	国保中原診療所	訪問看護ステーション	地域研修	リハビリテーション科
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	手術 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	リハビリテーション科	訪問看護ステーション	リハビリテーション科	地域研修	訪問診療

第4週目 (/ - /)

		月曜日 月 日	火曜日 月 日	水曜日 月 日	木曜日 月 日	金曜日 月 日
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	リハビリテーション科	国保中原診療所 送別会	リハビリテーション科	地域研修	訪問診療
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	訪問看護ステーション	国保中原診療所 送別会	訪問診療	地域研修	訪問看護ステーション
先生	午前	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟	外来 病棟	送迎車・外来 病棟	送迎車・外来 病棟
	午後	訪問診療	国保中原診療所 送別会	訪問看護ステーション	地域研修	リハビリテーション科

■外 来: 初診患者診察・入院患者が入れば担当医に。健康診断や予防注射などもあり。患者中心の医療(PCCM)を忘れずに。

■病 棟: 入院患者回診・指示出し・リハビリテーション見学。一般病棟、地域包括ケア病棟の違いを確認しつつ治療して下さい。
指示は午前中に出します、解らないことは主治医になんなりと聞きましょう

■救 急: 救急車が来た際は全員集合し治療に当たってください

■訪問看護ステーション: かみやはず訪問看護ステーションで時間は事前に確認を。

■バス乗車: 患者様送迎車に乗って、まず上矢作の地理を理解してください。高齢者が通院することの困難さを理解してください。

■時間を有意義に: 仕事は迅速に行い、空いた時間で上矢作、恵那地区を堪能してください。遊び所は適宜案内します。

■地域研修: 白衣を脱いで、上矢作、恵那地区を散策します

■土・日曜日、祝日当直: 平日に振替休日を取って下さい。

☆患者さん、スタッフへの尊敬の念を忘れずに！

☆外来・入院ともに必ずプロブレムリストを立てること！

☆困ったことがあればいつでも聞いてください。どこよりも優しいスタッフです！

飛騨市民病院
管理者兼病院長：黒木嘉人
住所：〒506-1111 飛騨市神岡町東町 725 番地右
TEL：0578-82-1150 FAX：0578-82-1631
URL： http://www.city.hida.gifu.jp/kamioka_hida/life/hospital/hidashimin

国民健康保険 飛騨市民病院 地域医療研修プログラム

国民健康保険 **飛騨市民病院**
KAMIOKA Neu-Care Town 研修

飛騨市民病院
HIDA CITY HOSPITAL

一般外来を担当して、病棟主治医となって、入院から退院まで一貫して患者さんを診れて、やり甲斐がある！

大人気の地域医療研修病院です

指導医は丁寧で優しく安心の指導体制！

1. プログラムの目的

プライマリ・ケアに必要な知識・技能・態度を習得するとともに、医療・介護・保健を包括的に行っているへき地医療についての理解を深め、将来へき地医療を担うことの出来る医師を育成するために飛騨市民病院を中心とした臨床研修を行う。

飛騨市民病院は岐阜県の最北端にあって、美しい北アルプスや溪流といった豊かな自然に恵まれた環境で、人情味あふれる住民気質の中山間部地域における中核病院として地域医療を実施している。小規模ながら診療科の横の連携が円滑であり、「飛騨市民病院を守る会」を中心とした地域住民との密接な関連性は大規模病院研修では経験できない特性がある。電子カルテシステムをはじめ、MRI、CT、AI機能付き内視鏡など検査機器においては最新の設備を備えている。本研修では、プライマリ・ケアの医療環境で必要となる医療技術（面接技法、身体診察などの基本的臨床能力、救急初期対応、EBMの手法、緩和ケアなど）を中心とした研修を行う。また診療所・病診連携・訪問看護・保健・介護サービス事業などを知り、地域において医療の果たすべき役割について理解する。

2. 研修協力施設

国民健康保険飛騨市民病院

飛騨市神岡町東町 725 番地

岐阜県看護協会立訪問看護ステーション上宝

高山市上宝町本郷 550 番地

3. 研修期間

4 週間を基本とするが、希望に応じて延長などの変更可能。

4. プログラム責任者及び指導医

プログラム責任者

国民健康保険飛騨市民病院 管理者兼病院長 黒木 嘉人

指導医

国民健康保険飛騨市民病院 管理者兼病院長 黒木 嘉人

国民健康保険飛騨市民病院 副病院長・内科部長 工藤 浩

国民健康保険飛騨市民病院 小児科部長 中林 玄一

5. 研修目標

一般目標 (GIO)

プライマリ・ケアやへき地医療を担う医師となるために、地域住民の健康に関する様々な問題について、保健・介護・福祉の知識を理解し「地域包括医療・ケア」の視点で診療できる医師としての基本的な知識・技能・態度を習得する。

行動目標 (SBO)

- ① 地域の地理的、経済的、社会的特性を理解して地域住民・患者の心身の状況を的確に把握して良好な患者と医師関係の下に診療にあたる。
- ② 限られた医療のマンパワーとの中で、緊密な連携によって医療サービスを提供している現場を経験し、チーム医療の重要性を認識するとともに、チームリーダーとしての役割を果たすことを学ぶ。
- ③ 医師やスタッフが持てる知識と能力を最大限に発揮して、自己責任において診察する状況を経験し、問題対応能力や安全管理能力の大切さを実感する。
- ④ へき地における医療・保健・福祉・介護体制（地域包括医療・ケア）の実情を体験することにより、医療の社会性を広い視野で考えうる力を養う。

具体的研修

① 入院診療

- 入院患者を総合診療の主治医として担当し、急性期疾患から慢性疾患・終末期・緩和ケアなど幅広く学習し、地域の特性のなかで生活する患者の医学的、また社会的な問題点を多職種と連携し合いながら情報を共有し、診断、治療方針を決定する。
- 毎朝、入院患者のカンファレンスを行う、夕方には全体の振り返りの後に、主治医チーム毎のカンファレンスで指導医と患者についてディスカッションし検証する。

② 外来診療

- 小児から高齢者にわたる広範囲な患者に対して、総合診療として一般外来研修をほぼ毎日担当します。

- 救急ホットラインを携行し救急患者の対応をします。
- 指導医と当直業務を行います。翌日午後は代休とします。

③ 在宅診療

- 市内の在宅医療に同行し、地域の地形などの状況を知るとともに、在宅療養患者の実情を把握し在宅診療を理解し経験する。

④ ライフストーリーレポートの作成

- 担当患者さんについて全人的医療について学ぶ。

⑤ 飛騨朝いち3分レクチャー

- 持ち回りでミニレクチャーを担当する。

⑥ 他職種業務の経験

- 薬剤師、検査技師、放射線技師、リハビリ、透析などの業務を理解し学ぶ。

6. 評価

- ポートフォリオを作成して日々振り返りを行います。
- 他職種による360度評価を行います。
- 岐阜大学指定の評価方法による評価を行います。

7. 研修スケジュール

(別紙参照)

8. その他

- 受け入れ可能な人数は同時期には4名までで、申し込み先着順ですので早めの申し込みをお願いします。
- 研修医学生専用宿舎（新築2020年度より入居開始、ワンルームマンション形式、冷蔵庫、洗濯機など完備、インターネット接続PC配備、病院から徒歩1分）を整備してあります。料金は無料。
- 院内研修室を整備してあります（インターネット接続PC1人1台配備）
- 富山大学医学生、岐阜大学医学生、研修医（岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、高山赤十字病院、大垣市民病院、中部国際医療センター、名古屋掖済会病院、富山大学、富山県立中央病院、富山市民病院）を受け入れており他大学出身者との交流が可能です。
- スーパーマーケット、ドラッグストアが病院前にあります。病院前には溪流釣りで有名な高原川が流れています。奥飛騨温泉まで車で30分、スキー場まで車で10分です。

9. 問い合わせ先

国民健康保険 飛騨市民病院 管理者兼病院長 黒木 嘉人

電話 0578-82-1150 FAX 0578-82-1631

E-mail y-kuroki@hida-hp.jp

理想の地域医療研修フィールド
KAMIOKA Neu-Care Town

Neutrino研究で有名な神岡は、多職種と住民もNeutralな関係で理想のまちづくりをめざします

多職種連携研修
高原郷ケアネット

飛騨市民病院を守る会

健康まちづくりマイスター

研修の合間のお楽しみは...

絶品 飛騨牛

流葉スキー場

奥飛騨温泉

レールマウンテンバイク
がんたんゴー 無料乗車

facebook
facebook見てね

飛騨市民病院 地域医療 臨床研修プログラム(例) 第1週目

	月	火	水	木	金	土・日
午前	移動	朝カンファレンス 総合診療外来	朝カンファレンス、病棟	総合診療外来	朝カンファレンス、 飛騨朝いち3分レク チャー 病棟	
午後	オリエンテーション	緩和ケアカンファレンス 院長回診 病棟	総合診療外来	NSTカンファレンス 病棟	代休	
夕方	チームカンファレンス	チームカンファレンス	チームカンファレンス 内視鏡カンファレンス 摂食嚥下講義	チームカンファレンス 当直	代休	

第2週目

	月	火	水	木	金	土・日
午前	朝カンファレンス、飛騨朝いち3分レクチャー 総合診療外来	朝カンファレンス 病棟	朝カンファレンス リハビリ研修	朝カンファレンス 総合診療外来	朝カンファレンス、 飛騨朝いち3分レク チャー 総合診療外来	
午後	検査科研修 薬剤科研修	代休	総合診療外来	NSTカンファレンス 町中案内	総カンファレンス 訪問診療	
夕方	チームカンファレンス 当直	代休	チームカンファレンス 内視鏡カンファレンス	チームカンファレンス	チームカンファレンス	

第3週目

	月	火	水	木	金	土・日
午前	朝カンファレンス、飛騨朝いち3分レクチャー 透析室	朝カンファレンス 小児科外来	朝カンファレンス 病棟	朝カンファレンス 診療所	朝カンファレンス、 飛騨朝いち3分レクチャー 総合診療外来	
午後	総合診療外来	緩和ケアカンファレンス 放射線科研修	代休	NSTカンファレンス 総合診療外来	総カンファレンス 訪問診療 TVカンファレンス	
夕方	チームカンファレンス	チームカンファレンス 当直	代休	チームカンファレンス	チームカンファレンス	

第4週目

	月	火	水	木	金	土・日
午前	朝カンファレンス、飛騨朝いち3分レクチャー 病棟管理	朝カンファレンス 病棟	朝カンファレンス 総合診療外来	朝カンファレンス 胃カメラ、腹部エコー	朝カンファレンス、 飛騨朝いち3分レクチャー 総合診療外来	
午後	総合診療外来	代休	総合診療外来 病棟	NSTカンファレンス 総合診療外来	総カンファレンス 病棟	
夕方	チームカンファレンス 当直	代休	振り返り 内視鏡カンファレンス	振り返り	修了式	

社会医療法人白鳳会 鷺見病院
理事長：鷺見浩志
住所：〒501-5121 郡上市白鳥町白鳥 2-1
TEL：0575-82-3151 FAX：0575-82-3150
URL： http://sumihosp.or.jp/

社会医療法人白鳳会 鷺見病院 地域医療研修プログラム

1. 研修の目的

外来・入院患者医療、在宅医療、介護老人保健施設・特別養護老人ホームでの実践、健康診断などを通じ、山間部の僻地における医療・保険・福祉について学ぶ。また、当院の立地の特殊性から、冬場であれば冬季のスポーツ外傷に対して診断から治療まで十二分に研修が可能である。

2. 研修施設

鷺見病院（149床 一般：101床、療養：48床）

鷺見病院訪問看護部

ケアポート白鳳（介護老人保健施設）

アットホームしろとり（特別養護老人ホーム）

郡上健診センター

3. 研修期間

1ヶ月間（～2ヶ月間）

4. プログラム責任者及び指導医

責任者 白鳳会 鷺見病院院長

指導医 白鳳会 鷺見病院

外科・消化器外科部門

脳神経外科部門

救急部門

整形外科部門

内科部門

その他部門（眼科、耳鼻科）

訪問診療・看護部門

検診部門（婦人科・一般検診・人間ドック他）

外来化学療法部門

介護老人保健施設・特別養護老人ホーム

各科医師

外科 医局長

脳神経外科 院長

外科・脳外科・整形外科・内科 担当医

医長（整形外科）

内科 医長

非常勤医師（岐阜大学より出向）

各担当医 及び 訪問看護師

健診センター長

外科 医局長

院長（脳神経外科）

5. 研修目標

A) 一般目標

地域住民の健康問題を解決するため、プライマリ・ケアの基本的な診療技術を身につけると共に、保健・医療・介護・福祉の知識を理解し、地域の中で医療が担う役割を認識する。

B) 行動目標

- (1) 地域医療における様々な医療・保健・福祉スタッフの役割を理解する。
- (2) 訪問診察を通じ、在宅医療患者の実情を把握し、在宅診療のノウハウを経験する。
- (3) 高齢患者中心の医療での入退院の適応、外来診療、病診連携、福祉との連携などについて学ぶ。
- (4) 介護老人保健施設や特別養護老人ホームにおいて、看護師や介護士と共に食事・入浴・排泄介助やレクリエーションを体験し、高齢者介護の実情を理解する。
- (5) 外来および入院診療を通じ、地域の中での病院の役割を理解する。
- (6) 研修期間中に住民健診があれば、健診業務を経験し、地域における健康管理を学ぶ。

6. 研修スケジュール

【基本的には2020年度からの地域医療研修に準じ、一般外来(外科・内科)4週/月(2ヶ月の研修の場合は一般外来8週)を含むプログラムとなる。訪問診察(2~3回/月可能)、救急外傷への対応、検診業務、その他は個人の希望により決定する。】

冬季スポーツシーズン中には、約1,000名の外傷患者が当院を訪れるため、新鮮外傷を研修希望する場合は、土日を研修日に充てて平日に休日を設定することも可能である。

下記スケジュールは例であり、希望科をメインに具体的には各研修医の希望を聞いて決定する。

第1週(例)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	オリエンテーション	外来診療 ex)脳神経外科	外来診療 ex)内科	外来診療 ex)外科	休み	休み	スキー・スノーボード等外傷対応
休憩	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み			昼休み
午後	訪問診察 ・特養回診	外来診療 ex)整形外科 ・病棟回診	外来診療 ex)内科 ・手術	外来診療 ex)外科	休み	休み	スキー・スノーボード等外傷対応

第2~8週(例)

	月	火	水	木	金	土	日
午前	外来診療 ex)整形外科	外来診療 ex)眼科	外来診療 ex)内科	外来診療 ex)耳鼻咽喉科	休み	休み	スキー・スノーボード等外傷対応
休憩	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み			昼休み
午後	外来診療 ex)内科 ・病棟回診	訪問診察 ・手術・外来	内視鏡見学 ・外来診療 ex)内科	外来診療 ex)耳鼻咽喉科	休み	休み	スキー・スノーボード等外傷対応

緊急手術、救急患者等、適宜対応。

7. 評価

- ・ 医療・介護・福祉・検診スタッフの役割を理解する。
- ・ 在宅診療のノウハウを経験する。
- ・ 介護老人保健施設や特別養護老人ホームの実情を理解する。
- ・ 大病院との医療内容の違いや地域医療の現状について理解する。
- ・ 外来及び入院診療を体験し、地方中小病院の役割を理解する。
- (住民健診を体験し、住民の健康管理についての理解を深める。)



鷺見病院 / ケアポート白鳳 / 郡上健診センター

- 美濃白鳥駅より徒歩約10分
- 白鳥インターチェンジより車で約3分

連絡先

社会医療法人白鳳会 鷺見病院

事務局長 金子 徳彦

Mail : n.kaneko@sumihosp.or.jp

医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック
理事長：市橋亮一 院長：藤井浩史
住所：〒501-6014 岐阜県羽島郡岐南町薬師寺4丁目12番地
TEL：058-213-7830 FAX：058-213-7831
URL： http://www.sogo-zaitaku.jp/

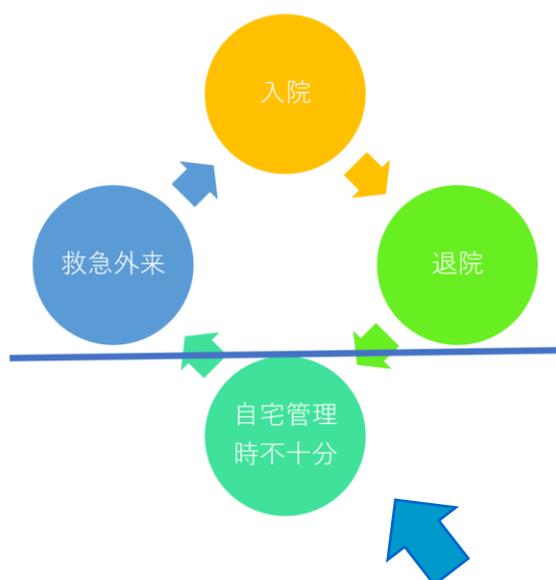
「皆さんが治した患者さん、
どうやって家で過ごしているのか見たくありませんか？」



(社屋の「かがやきロッジ」と
医療型短期入所「かがやきキャンプ」)

将来は病院勤務医を希望している方、退院後の生活を知ることで治療が変わります。
将来は開業をめざす方、訪問診療は診療所にとって大きな鍵となります。

退院した患者さんがどう生活しているのかは、病院で勤務している限り知ることが難しいことの一つです。そして救急外来で何度も受診する患者さんはなぜ短期間で再受診になってしまうのか？と考えたことはありませんか？



自宅でどういうことができるのかを知ることができれば、入院のうちにやっておくべきこともわかるし、在宅での適切な対応がわかれば再入院までの期間を長くすることができます。

「第3の医療」といわれている在宅医療。さまざまなIT機器を利用することで今後も進展していくと思われます。

将来開業医になる人も勤務医になる人も知っておくといいい「在宅医療の在り方」を知っておくことは重要なのではないでしょう

病院では見えない「自宅管理時」を見ることができる。

●2009年、岐阜県初の在宅医療専門クリニックとしてスタートしました。

当法人は2009年に、岐阜県初の在宅専門クリニックとして医師1名・看護師2名からスタートしました。現在スタッフ90名（医師常勤7名、非常勤14名、歯科医4名、看護師22名、管理栄養士3名、歯科衛生士2名、ST、PT、音楽療法士、プロデューサーなど）からなる在宅医療の総合病院です。患者数は常時400名程度、年齢は0歳～105歳までで、年間約200名の在宅看取りを行い、開設以来3000名の在宅患者の診療、1600名以上の自宅看取りを行ってきました。どんな重症患者でも各科の専門医と総合診療医のグループ診療体制で対応します。末期がんから神経疾患、小児疾患まで、幅広く診療を行っていますので皆さんが将来どんな科に行くことになっても、自宅へ退院する

ほとんどの患者さんの日常生活の在り方を現場に行ってみたり、聞いたりすることができます。また2022年に「総合在宅医療クリニック名駅」、2024年に「総合在宅医療クリニックみの」を開設。どんな地域にいても在宅医療が受けられる未来をつくるために、また人口減少地域でも医療者がひとりで疲弊しないグループ医療を実現していくために、今後も東海地区を中心にいくつかの拠点を作っていく予定です。



●在宅医療で使える医療機器

在宅医療が発展してきた背景には、医療機器の小型化・ポータブル化があります。在宅医療ではさまざまな医療機器を使用して診断精度を高めることができます。

現在、超音波検査ができるポータブルエコーが6台あり、医師1人に対して1台使える体制にしています。研修医の皆さんにも使ってもらいたいと思っております。今後もさまざまな機器の小型化に伴って、自宅で治療することができるものが増えていくと思っています。

胃カメラ



耳鏡・眼底鏡 心電図



超音波



●研修受け入れ実績

＊初期研修医の受け入れ先は 岐阜大学、松波総合病院、岐阜市民病院、一宮西病院、大同病院、愛知医科大学などから受け入れています。

＊1～4週間の医学生の臨床研修も受け入れており、初期研修医の方々にはそうした学生と共に学んだり、学生への教育を通して学んでいただく機会もあります。(医学生：岐阜大学、名古屋大学、名古屋市立大学、藤田医科大学、愛知医科大学、三重大学、富山大学、福井大学、愛媛大学、島根大学など)

＊海外からの研修は、台湾、オランダ、カナダ、ミャンマー、タイ、アフガニスタン、カザフスタン、マレーシア、モンゴルなどから受け入れています。

●担当する患者・疾患・医療機器

	2021	2022
自宅看取り	279	307
入院/施設死	31	32
自宅看取り	90%	90%

【疾患/初診数】主病名のみ	2021	2022
がん	232	221
認知症	46	49
脳出血・梗塞・くも膜下出血後	41	46
パーキンソン関連疾患	33	33
心血管疾患（慢性心不全など）	31	33
骨疾患	19	13
糖尿病	13	18
ALS	13	9
呼吸器疾患（COPD、間質性肺炎）	17	39
腎疾患（慢性腎臓病など）	7	14
肝疾患（肝硬変など）	6	4
その他	200	175
合計	658	642

※施設への訪問は少なく、9割以上が自宅への訪問診療となります。また検査や急性増悪では連携病院での入院加療を選択する場合がありますが、自宅での看取り率は9割近くあり、最期まで「希望する在宅生活を安心して送れる」ことを大切にしています。

●グッドデザイン賞地域づくり部門 金賞（2019年）受賞

「かがやきロッジ」地域に開かれた診療所の在り方を学べます。
社会的処方箋への模索

地域で「しあわせ提供する」ことをしようとする、どうしても医療の枠から飛び出る部分が出てきます。そんな時には「医学的な処方箋」に対比して「社会的な処方箋」といわれる活動がイ

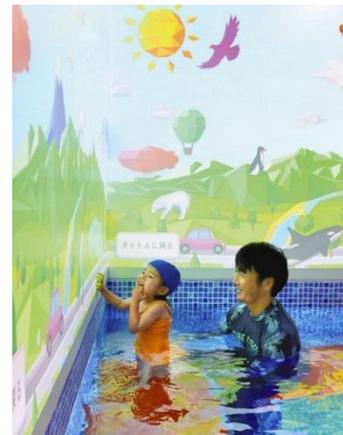
ギリスから提案されるようになってきています。そこで当院では医療のみに問われない形での地域の健康・しあわせに貢献するために2017年11月に木造2階建ての新診療所を開設。1階に事務所と診療所、地域の方などに解放しているリビングやキッチン、2階部分は大小2つの講義室を持ちます。毎月第3木曜の夜は「こども食堂」、第3金曜の午前中は高齢者向けの「ウォーキング倶楽部」を開催。その他、地域の方や学生たちに要望に応じて解放しています。講義室の横には2つの研修生用の宿泊室もでき、「在宅医療に特化した研修センター」として、国内外からの研修生をより積極的に受け入れています。



●小児・医療的ケア児専門のリハビリ施設・プール活動 を見ることができます

プール壁面にデジタルリハビリテーションとして画面を投影することでゲームで遊びながらのリハビリテーションを行える施設「かがやきキャンプ」を2021年6月に開設し、全国からの注目を集めています。

火曜日と金曜日に「医療型特定短期入所」施設として活動、平日の夕方や週末には障がい児者専門の「かがやきフィットネス」を開設。週末コースは関東や九州から一泊で家族が訪れ、重い障害を持つ子ども達がプールの中で自由に身体を動かしています。



●教育の仕組みを充実させていきます・・・研修生のための教科書を出版

当院の理事長が中心となって作成した書籍「在宅医ココキン帖」(在宅医療の心得=ココと禁忌=キン)が研修医マニュアルとなります。21の単元の一つ一つをYoutube番組にしており、時間のある時に見ながら実際の診療に役立ていただけます。



youtube チャンネル 勉強会総合在宅医療クリニック



●当院での実習の特徴

岐阜圏域で最大規模の在宅医療クリニックであり、自宅看取り数が岐阜県で最も多いクリニックでの実習です。

- ・ 患者さんの自宅での様子を見ることで、どの科に進むとしても退院後在宅復帰をイメージすることができるようになり、退院を見据えた入院患者のマネジメントが可能になります。特に内科、外科いずれの科でも再入院を予防するためのコツを考えることができます。
- ・ 小児在宅医療を手がけているので、小児科希望の方にも良いと思います。
- ・ 実際の在宅看取りの場を経験すると、「死の風景」のイメージが変わると思います。自らの死生観や医師の仕事観も変わったという方もおられます。

【実習内容・1か月のスケジュール】

	おおよその内容
1 週目	診療同行
2 週目	看護師とともに個別訪問 / Zoom での遠隔診療サポート
3 週目	多職種に同行 / 緊急往診対応
4 週目	緊急往診対応、最終日にプレゼン



毎朝訪問する患者の症例検討を行います



こども食堂の様子

【交通】 岐阜駅から車で10分、笠松駅から徒歩12分。駐車場完備

【宿泊など】 岐阜大学から約13kmの距離であり、生活圏域は大きく変わらないと思われます。男女別の3LDKのシェアハウスがありますので宿泊希望者はお知らせください。クリニック隣にコンビニもあります。

【服装】 シャツとコットンパンツなど動きやすい服装でお越しください（白衣不要、ジーンズ・サンダル不可）

【持ち物】 筆記用具 カルテ・日報などを記入するPCは貸与します。

※1ヶ月の間に、名駅や美濃の拠点での活動も希望に応じます。



総合在宅医療クリニック



医療型短期入所「かがやきキャンプ」

●研修医・医師の感想

■在宅医療に関して慢性期のイメージを持っていましたが、実際の転帰は様々で、特になん患者は看取りまでの間にダイナミックな挙動を示しながら急性期のようなようでした。ともすれば後手に回る緊張感があり、勉強になりました。他職種の見学では、医師の視点からは見えづらい日常生活や専門性をみることができ、充実していました。できれば他職種(注：多職種ではない)のカンファレンスに参加するとさらに理解が深まったのかな、という気がいたします。(1ヶ月 研修医)

■1か月という短い間でしたが、お世話になりました。あっという間の1か月で名残惜しいです。研修させていただく前は、在宅医療や地域医療に関して、全く知りませんでした。この研修を通じて、在宅医療で何ができるのか知ることができ、病院から帰せない患者さんはいないのだなと感じました。在宅医療や地域医療の重要性を知ることができましたし、今まで見てきた景色が変わりました。医療の枠を超えたところまで手を伸ばし、患者さんの満足度も高く、なにより診察時に患者さんや家族の方から感謝されたり、笑顔がみれたことが嬉しく思いました。患者さんに寄り添った医療とはこういうものなのかと思いました。またスタッフの皆さんも気さくな方が多く、アットホームな雰囲気でもとても居心地がよかったです。やりたいことや見たいことなどリクエストにも答えてくださって、とてもありがたいですし、貴重な経験ができました。短い間でしたが、ありがとうございました。(1ヶ月 研修医)

■5週間大変お世話になりました。あまり経験したことのない在宅医療を濃厚に経験させていただきました。今まで急性期病院にいたため、なかなか癌終末期や慢性期疾患の終末期の安定している時期を見ることなく、どのような経過をたどって行くことを見ることができたのは貴重でした。また、音楽療法、リハビリなどコメディカル診療も見ることができ、退院後の患者の生活のイメージが付き、今後の診療、退院後へのケアを行うことができそうです。慣れない環境で右往左往している自分を温かく支えていただきありがとうございました。(1ヶ月 研修医)

■医学部卒業してから5年間病棟での業務しかしたことがなく、今回在宅医療クリニックの見学は新しい発見が多く大変刺激的な時間を過ごせました。医療資源の豊富な病院とは違い、限られた資源の中患者のQOLを考えて診療するのがいかに難しいのかを知ることができました。不時着飛行機のエンジンのたとえがとても分かりやすかったです。建物もきれいで構造も広々としていて中を歩くだけで気持ち良い気分になりました。全体的な雰囲気も明るく、とても働きやすい環境だと感じました。(1日研修 内科医)

県北西部地域医療センター（基幹 国保白鳥病院）
センター長：後藤 忠雄 副センター長（病院長）：廣瀬 英生
住所：〒501-5122 郡上市白鳥町為真 1205-1
TEL：0575-82-3131 FAX：0575-82-2708
URL（県北西部地域医療センター） http://gk-mc.jp/index.html
URL（国保白鳥病院） http://shirotori-hosp.jp/

県北西部地域医療センター 地域医療研修

- ・一般外来研修に週3～5コマ(1コマ=0.5日)対応できます。
- ・在宅医療、訪問診療は週2～3日は機会を提供できます。
- ・入院診療では地域包括ケア病床で患者を受け持ち、ポストアキュート、リハビリ、退院調整、退院後の生活とそれを支える地域の資源まで関わります。
- ・センター内の基幹病院、診療所群、地域内すべてを研修のフィールドとします。



県北西部地域医療センターとは

地域の特性に即した医療の提供はもとより、健康づくりや福祉領域の支援にも関与する体制を強化するため、県が示す「岐阜県北西部地域におけるへき地医療広域連携構想」に基づき、広域連携のもと持続可能な地域医療体制を作る仕組みとして、現在の郡上市地域医療センターを発展的に拡大し、国保白鳥病院を基幹病院として、周辺自治体のへき地診療所を含めた地域医療を支える新たなモデルとなる「県北西部地域医療センター」を立ち上げました。



■GIO(一般目標:general instructional objective):

地域と地域を繋ぎ、そこにある医療機関と地域の様々な資源を繋ぎ、更には地域の枠組みを超えて繋がれた医療機関同士のネットワークによって目の前の人の、目の前の地域の QOL を支えることを重視し、この「繋ぐ」をキーワードとしながら

- 地域を基盤として健康問題を解決していくために必要とされる診療技術を理解する。
- 保健・医療・福祉の連携の重要性と地域住民に対するその役割について学ぶ。

■SBOs(行動目標:specific behavioral objective):

- 知識
 - ・ 今回の地域医療研修終了時までには当センターが対象としている地域の特徴を列挙する。
 - ・ 今回の地域医療研修終了時までには親元研修病院と地域医療機関での外来患者・入院患者の違いを列挙する。
 - ・ 今回の地域医療研修終了までに保健医療福祉の連携にかかわる資源を列挙する。
 - ・ 可能であれば今回の地域医療研修終了までに保健医療福祉の連携のもとで支援を受けている住民を少なくとも1例(もしくは1家庭)提示する。

- 態度
 - ・ 今回の地域医療研修終了時まで、地域を念頭に置いた患者のマネジメントが重要であるとランクをつける。
 - ・ 今回の地域医療研修終了時まで、自身の働く立ち位置を明らかにし、それが自身の研修にどう影響するかに関して同僚や指導医と議論する。
- 技能
 - ・ 今回の地域医療研修終了時まで、患者あるいは住民と医療だけではなく保健福祉を意識したインタビューを実演する。
 - ・ 指導医の後方支援のもとで外来診療、訪問診療を独り立ちしてできることを提示できる

■LS(研修方略):

- ・地域、施設、多職種、様々な場と役割を経験
- ・担当患者を決め、在宅・病棟・退院等のカンファレンスに参加、患者の生活の場まで関与
- ・研修医個人の研修目標に応じて地域医療における選択コース提供可
- ・研修医の到達段階別に応じた一般外来研修

■EV(評価):

- ・日々の振り返りと指導医からの形成的評価
- ・多職種からの口頭フィードバック、360度評価
- ・各種カンファレンスでの参加、発言に対する形成的評価
- ・一般外来研修においては Mini-CEX や口頭での形成的評価
- ・研修のまとめの発表と、それに対する形成的評価、総括評価
- ・行動目標にそった研修全体の振り返り、それに対する形成的評価、総括評価

■宿泊:国保白鳥病院およびセンター内各診療所に宿泊設備あり

■受け入れ:年中可能、同時には2名まで

■研修期間:4週間以上対応できます

■研修受け入れ担当:伊左次 悟(総合診療科・内科) 杉本 文彦(総務課)

E-mail: shirotori-hospital@city.gujo.lg.jp

総合診療医 10名以上で 診療所、病院、地域を支える



日本プライマリケア連合学会
家庭医療後期研修プログラム
東北西部地域医療センター地域医療
後期研修プログラム“さくら道”
修了 3名

総合診療プログラム
みのひだ地域医療
総合診療専門研修プログラム
研修中 4名

(他プログラム総診 I 修了 2名)

新・家庭医療プログラム
東北西部地域医療センター家庭医療
専門研修プログラム“さくら道”
研修中 1名

(他プログラム家 I 研修中 1名)

私たちは**東北西部**の
地域医療を支える
センター = 集団です

小さな花ひらは子ども、
大きな花ひらは大人、
花ひらの集まりの根は、
小さな家族から、大き
な集落までを表します

3つの地域をつなぐ通称
さくら道の国道156号線
が地域を支えます

3地域の自然・文化を育む、
霊峰白山の3峰と、清流の
水色・桜のピンク・豊かな
自然の緑を表しています

国保白川診療所
国保平瀬診療所
国保荘川診療所
国保高基診療所
小川出張診療所
国保石巻診療所
国保白鳥病院
(基幹病院)
国保和良診療所
和良和良診療所
和良介護老人保健施設
国保小部比診療所

白山連峰

庄川桜

国保 成瀬 貞二 さん

ロゴマークが目指すもの
モチーフは、白山三峰と、郡上・荘川・白川を結ぶ「通称さくら道」の国道156号を、小さな花ひらから大きな花ひらは、小児から老人までを、小さな花ひらの集まりから、大きな花ひらの集まりまで、つまり最小コミュニティの家族からそうした人や家族が日常生活を営む地域コミュニティまでを支える、センターの使命を表しています。

・郡上市・高山市（荘川）・白川村の2市1村が連携
・東北西部地域の地域医療をネットワークで支えます
・地域医療は、健康づくりや福祉の支えも含まれます
・地域医療の人材教育の場、医師の受け皿となります
・新たな地域医療のモデルとして内外に情報発信します
・広域連携により、目の前の人、目の前の地域の生活の質（QOL）を支えます

発行 岐阜大学医学部附属地域医療医学センター(CRM)
〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸 1-1
Tel 058-230-6173
Fax 058-230-6538
Email: crm2@gifu-u.ac.jp
<http://www.med.gifu-u.ac.jp/crm/>

発行者 牛越博昭（地域医療医学センター長）